

気候変動質問書2020：一般セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020一般セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

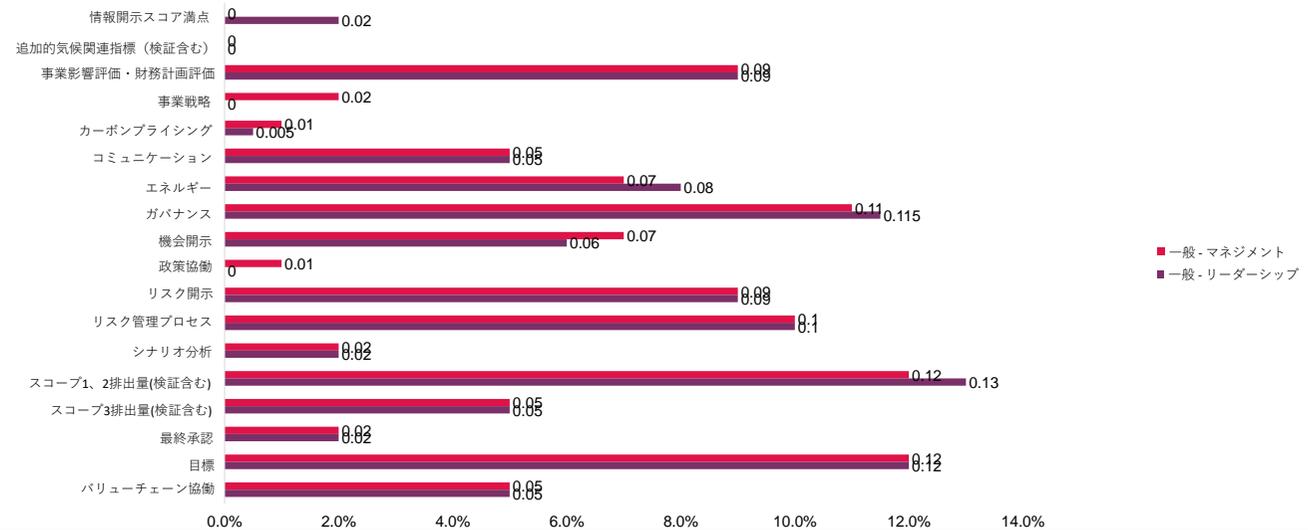
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映していません。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

2020スコアリングカテゴリ

2020年は以下の18のスコアリングカテゴリを設定しています。情報開示スコア満点、ガバナンス、リスク管理プロセス、リスク開示、機会開示、事業戦略・財務計画、シナリオ分析、目標、排出削減活動と低炭素製品、スコープ1,2排出量（検証含む）、スコープ3排出量（検証含む）、エネルギー、追加的気候関連指標（検証含む）、カーボンプライシング、バリューチェーン協働、政策協働、コミュニケーション、最終承認

スコアリングカテゴリとウェイト：一般セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、一般セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

一般セクター スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X	
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X	
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X	
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X	
C1.1		✓	✓	X	X	C7.3b			✓	✓	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.3c	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.5	✓	✓	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X	
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X	
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.9	✓	✓	X	X	
		C2.1	✓	✓	X	X			C7.9a	✓	✓	✓	✓	
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.9b	✓	✓	X	X	
		C2.1b	✓	X	✓	X			エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X
C2.2	✓	✓	✓	✓	C8.2	✓					X	X	X	
C2.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓			✓			
C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X			X			
C2.3	✓	X	X	X	C8.2c	✓	X	✓			X			
C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	✓			✓			
C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓			X			
C2.4	✓	X	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X			X	X		
C2.4a	✓	✓	✓	✓	検証	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.1	✓			✓	✓	✓	
C2.4b	✓	✓	✓	✓			スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1a			✓	X	✓	✓
リスクと機会	リスク管理プロセス	C3.1	✓	✓			X	X	スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1b	✓	X	✓	✓
		C3.1a	✓	✓			X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	X
		C3.1b	✓	✓	✓	✓	C10.2	✓	✓	X	X			
		C3.1c	✓	✓	✓	✓	C10.2a	✓	✓	X	X			
		C3.1d	✓	✓	✓	✓	カーボンライティング	カーボンライティング	C11.1	✓	X	X	X	
	C3.1e	✓	X	✓	✓	C11.1a			✓	X	X	X		
	C3.1f	X	X	X	X	C11.1b			✓	✓	X	X		
	C3.1g	✓	X	✓	✓	C11.1c			✓	✓	X	X		
	機会開示	機会開示	C4.1	✓	✓	✓			X	C11.1d	✓	✓	✓	X
			C4.1a	✓	✓	✓			✓	C11.2	✓	X	X	X
C4.1b			✓	✓	✓	✓			C11.2a	✓	X	✓	X	
C4.1c			✓	✓	✓	✓			C11.3	✓	✓	✓	X	
C4.2			✓	X	X	X			C11.3a	✓	✓	✓	X	
事業戦略	事業戦略・財務計画	C4.2a	✓	✓	✓	X			C12.1	✓	✓	✓	X	
		C4.2b	✓	✓	X	X	バリューチェーン協働	C12.1a	✓	✓	✓	✓		
		C4.3	✓	✓	✓	X		C12.1b	✓	✓	✓	✓		
	C4.3a	✓	✓	✓	✓	C12.1d		✓	X	✓	X			
	C4.3b	✓	✓	✓	X	C12.1e		✓	✓	✓	✓			
	シナリオ分析	シナリオ分析	C4.3c	✓	✓	X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X
			C4.3d	✓	X	✓	✓			C12.3a	✓	✓	X	X
			C4.5	✓	X	X	X			C12.3b	✓	X	X	X
			C4.5a	✓	X	X	X			C12.3c	✓	✓	X	X
			C5.1	✓	X	X	X			C12.3d	✓	✓	X	X
C5.2			✓	X	X	X	C12.3e			✓	X	X	X	
C5.2a			X	X	X	X	C12.3f			✓	X	✓	X	
目標と実績	目標	C6.1	✓	X	X	X	C12.3g			✓	✓	X	X	
		C6.2	✓	✓	X	X	コミュニケーション			C12.4	✓	X	✓	✓
		C6.3	✓	✓	X	X	最終承認			最終承認	C14.1	✓	X	✓
		C6.4	✓	X	X	X	排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	
		C6.4a	✓	✓	✓	✓			X					
	C6.5	✓	✓	X	✓	X								
	C6.7	✓	X	X	X	X								
	C6.7a	✓	✓	X	X	X								
	排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.10	✓	✓	✓		X						

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問

気候変動質問書2020：金融サービスセクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020金融サービスセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

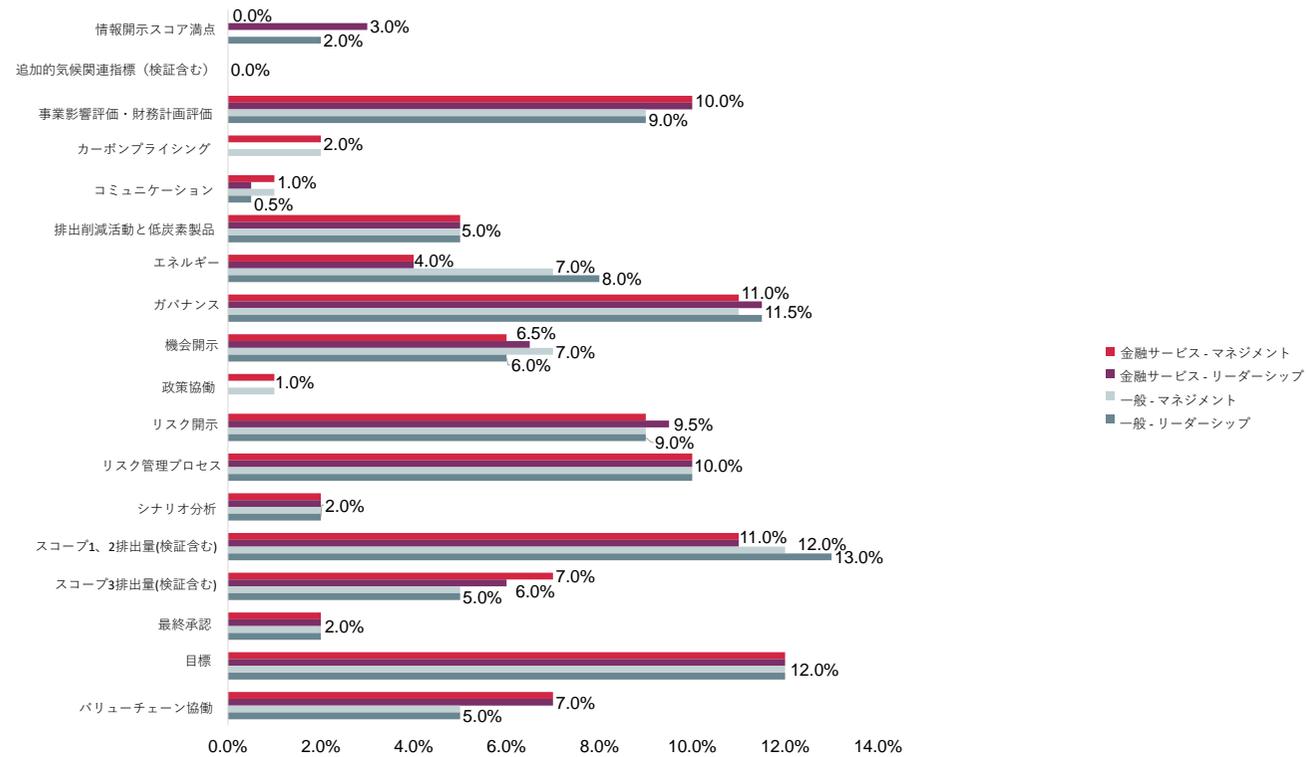
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

金融サービス：重要なスコアリングカテゴリ

金融サービスセクターの活動には、銀行貸出、投資（資産管理/資産所有）、および保険引受が含まれます。気候関連財務情報開示に関するタスクフォース（TCFD）の勧告は、気候関連財務情報開示の作成者としての、金融セクターの重要な役割を強調しています。本セクターの開示により、投資家、中央銀行、規制当局/監督者、およびその他の関連する利害関係者は、金融セクターにおける炭素関連資産の集中度合や、気候関連リスクに対する金融システムのエクスポージャーをよりよく理解できるようになります。したがって、TCFDは、低炭素経済への移行に資金を提供するための資本のリダイレクトを奨励するために、金融機関のポートフォリオに焦点を当てています。情報開示の焦点を運用活動のみならず、資金調達による排出量にシフトする必要があります。これは、「エネルギー」カテゴリの重みづけの減少と、「スコープ3」、「事業戦略および財務計画」、および「バリューチェーンエンゲージメント」の重みづけの増加に反映されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 金融サービスセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、金融サービスセクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

金融サービススコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X		
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C5.2	✓	X	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C5.2a	X	X	X	X		
		C0.4	X	X	X	X		C6.1	✓	X	X	X			
		C0.5	X	X	X	X		C6.2	✓	✓	X	X			
		C-FS0.7	X	X	X	X		C6.3	✓	✓	X	X			
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.4	✓	X	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C6.4a	✓	✓	✓	✓		
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C6.5	✓	✓	X	✓		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓		スコープ3排出量 (検証含む)	C6.10	✓	✓	✓	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓			スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.9	✓	✓	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X				C7.9a	✓	✓	✓	✓	
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.9b	✓		✓	X	X			
		C1.3a	✓	✓	✓	✓	エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X		
		C-FS1.4	✓	X	X	X			C8.2	✓	X	X	X		
		C2.1	✓	✓	X	X			C8.2a	✓	✓	✓	✓		
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1a	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X
				C2.1b	✓	X	✓	X			検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓
				C2.2	✓	✓	✓	✓	C10.1a	✓			X	✓	✓
				C2.2a	✓	✓	✓	✓	C10.1b	✓		X	✓	✓	
C-FS2.2b	✓			✓	✓	X	スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X		✓	X		
C-FS2.2c	✓			✓	✓	X		追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X		
C-FS2.2d	✓			X	X	X	C10.2a		✓	✓	X	X			
C-FS2.2e	✓			X	X	X	カーボンライジング	カーボンライジング	C11.2	✓	X	X	X		
C-FS2.2f	✓			✓	X	X			C11.2a	✓	X	✓	X		
C2.2g	✓			✓	✓	✓			C11.3	✓	✓	✓	X		
リスク開示	C2.3		✓	X	X	X	C11.3a	✓	✓	✓	X				
	C2.3a		✓	✓	✓	✓	バリューチェーン協働	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X		
	C2.3b		✓	✓	✓	✓			C12.1a	✓	✓	✓	✓		
	C2.4		✓	X	X	X			C12.1b	✓	✓	✓	✓		
C2.4a	✓		✓	✓	✓	C-FS12.1c			✓	✓	✓	✓			
C2.4b	✓		✓	✓	✓	C12.1d			✓	X	✓	X			
C2.4c	✓		✓	✓	✓	C12.1e			✓	✓	✓	✓			
事業戦略	事業戦略 & 財務計画		C3.1	✓	✓	X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X	
		C3.1a	✓	✓	X	X	C12.3a			✓	✓	X	X		
		C3.1b	✓	✓	✓	✓	C12.3b			✓	X	X	X		
	C3.1c	✓	✓	✓	✓	C12.3c	✓			✓	X	X			
	C3.1d	✓	✓	✓	✓	C12.3d	✓			✓	X	X			
	C3.1e	✓	X	✓	✓	C12.3e	✓			X	X	X			
	C3.1f	X	X	X	X	C12.3f	✓			X	✓	X			
	C3.1g	✓	X	✓	✓	C12.3g	✓			✓	X	X			
	C-FS3.2	✓	✓	X	X	コミュニケーション	C12.4			✓	X	✓	✓		
	C-FS3.2a	✓	✓	✓	X		政策協働			C-FS12.5	✓	X	X	X	
	C-FS3.2b	✓	✓	X	X	スコープ3排出量 (検証含む)	C-FS14.1			✓	✓	X	X		
	C-FS3.2c	✓	X	✓	X		C-FS14.1a			✓	✓	✓	X		
	C-FS3.3	✓	✓	X	X		C-FS14.1b			✓	✓	✓	X		
	C-FS3.3a	✓	✓	X	X		C-FS14.1c			✓	X	✓	X		
C-FS3.3b	✓	✓	X	X	C-FS14.2		✓	✓	X	X					
C4.1	✓	✓	✓	X	C-FS14.2a		✓	✓	X	X					
C4.1a	✓	✓	✓	✓	C-FS14.2b		✓	✓	X	X					
C4.1b	✓	✓	✓	✓	C-FS14.2c	✓	✓	X	X						
C4.1c	✓	✓	✓	✓	バリューチェーン協働	C-FS14.3	✓	✓	X	X					
C4.2	✓	X	X	X		C-FS14.3a	✓	✓	X	X					
C4.2a	✓	✓	✓	X		C-FS14.3b	✓	✓	X	X					
C4.2b	✓	✓	X	X	最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓				
C4.3	✓	✓	✓	X											
目標と実績	目標	C4.3a	✓	✓	✓	✓	ポートフォリオインパクト	スコープ3排出量 (検証含む)	C-FS14.1	✓	✓	X	X		
		C4.3b	✓	✓	✓	X			C-FS14.1a	✓	✓	✓	X		
		C4.3c	✓	X	X	X			C-FS14.1b	✓	✓	✓	X		
		C4.3d	✓	X	✓	✓			C-FS14.1c	✓	X	✓	X		
		C4.5	✓	X	X	X			C-FS14.2	✓	✓	X	X		
		C4.5a	✓	X	X	X			C-FS14.2a	✓	✓	X	X		
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3e	✓	X	X	X		C-FS14.2b	✓	✓	X	X			
		C4.4	✓	✓	✓	X		C-FS14.2c	✓	✓	X	X			

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020：不動産セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020不動産セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

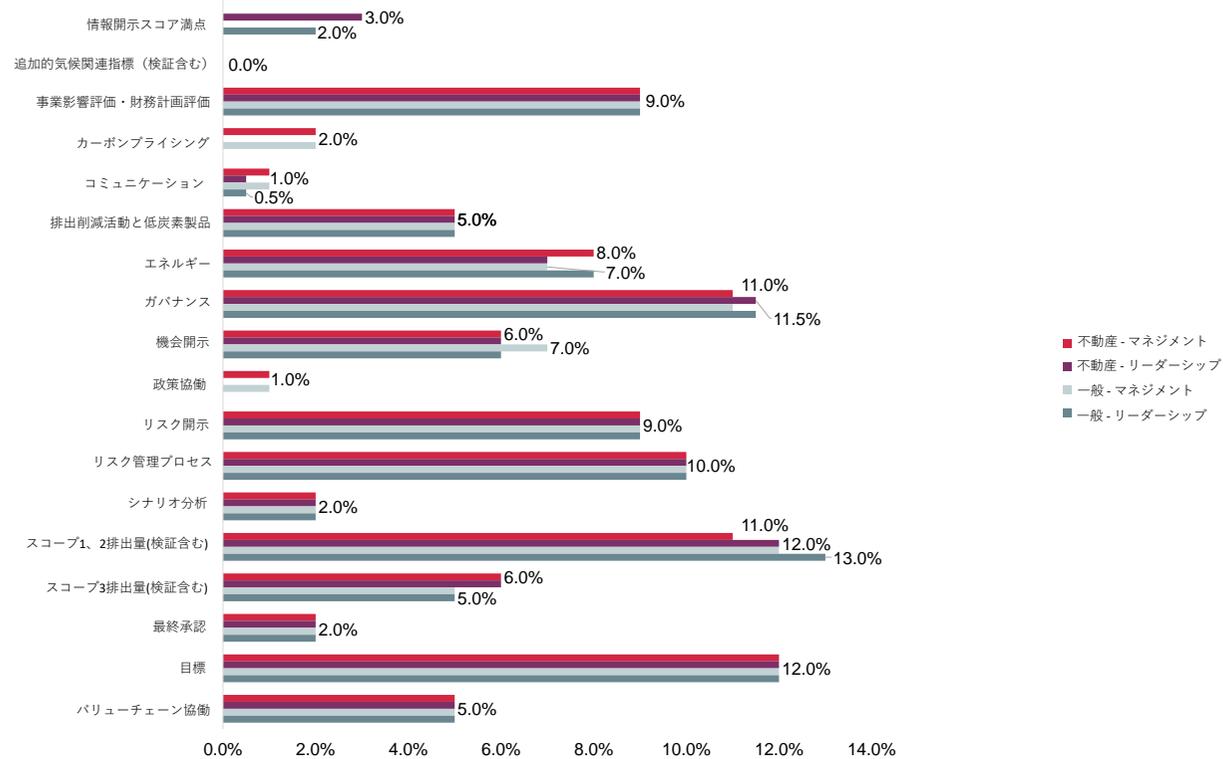
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なり、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

不動産：重要なスコアリングカテゴリ

不動産セクターの活動は、財務、設計、建設、ライフサイクルメンテナンスにまたがるバリューチェーンのさまざまなポイントでなされます。現在、建物は世界のGHG排出量の39%を占めています。これらの排出量の多くの部分は、資産の使用（運営上の排出量（スコープ1および2））だけでなく、それらの建設（統合された排出量（スコープ3））にも起因します。現在の世界的な建物の床面積が2060年までに2倍以上に設定されると、プロジェクトの完了前に新しい建物、増築、改修、インフラにおける建設資材の需要が増大し、大幅かつ短期間での炭素排出が発生します。透明性のあるセクター固有のメトリックを報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」カテゴリと「スコープ3」カテゴリの重み付けの増加によって強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 不動産セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、不動産セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

不動産スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ			
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X			
		C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X			
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X			
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X			
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X			
C-RE0.7	X	X	X	X	C7.3b	X			✓	X	X					
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X			
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X			
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.6	✓	X	X	X			
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X			
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6b	✓	✓	X	X			
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X			
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.9	✓	✓	X	X			
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.9a	✓	✓	✓	✓			
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X			C7.9b	✓	✓	X	X			
		C2.1a	✓	✓	X	X			C8.1	✓	✓	X	X			
		C2.1b	✓	X	✓	X			C8.2	✓	X	X	X			
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C8.2a	✓	✓	✓	✓			
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C8.2b	✓	X	X	X			
	リスク開示	C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	X	✓	X					
		C2.3	✓	X	X	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓					
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓	X					
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X			
		機会開示	C2.4	✓	X	X			X	C-RE9.6	✓	✓	X	X		
C2.4a	✓		✓	✓	✓	C-RE9.6a			✓	✓	X	X				
C2.4b	✓		✓	✓	✓	C-RE9.9			✓	X	X	X				
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X			追加的気候関連指標	排出削減活動と低カーボン製品	C-RE9.9a	✓	✓	X	X	
		C3.1a	✓	✓	X	X					C-RE9.10	✓	X	X	X	
	シナリオ分析	C3.1b	✓	✓	✓	✓					C-RE9.10a	✓	✓	X	X	
		C3.1c	✓	✓	✓	✓					C-RE9.11	✓	✓	X	X	
		C3.1d	✓	✓	✓	✓					検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓
	C3.1e	✓	X	✓	✓	C10.1a							✓	X	✓	✓
	C3.1f	X	X	X	X	C10.1b	✓	X					✓	✓		
C3.1g	✓	X	✓	✓	C10.1c	✓	X	✓	X							
C4.1	✓	✓	✓	✓	X	C10.2	✓	✓	X	X						
目標と実績	目標	C4.1a	✓	✓	✓	✓	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C10.2a	✓	✓	X	X			
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C11.1	✓	X	X	X			
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			C11.1a	✓	X	X	X			
		C4.2	✓	X	X	X			C11.1b	✓	✓	X	X			
		C4.2a	✓	✓	✓	X			C11.1c	✓	✓	X	X			
	排出削減活動と低炭素製品	C4.2b	✓	✓	X	X			C11.1d	✓	✓	✓	X			
		C4.3	✓	✓	✓	X			C11.2	✓	X	X	X			
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C11.2a	✓	X	✓	X			
		C4.3b	✓	✓	✓	X			C11.3	✓	✓	✓	X			
		C4.3c	✓	X	X	X			C11.3a	✓	✓	✓	X			
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C4.3d	✓	X	✓	✓	エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	✓			
		C4.5	✓	X	X	X			C12.1a	✓	✓	✓	✓			
		C4.5a	✓	X	X	X			C12.1b	✓	✓	✓	✓			
		C5.1	✓	X	X	X			C12.1d	✓	X	✓	X			
		C5.2	✓	X	X	X			C12.1e	✓	✓	✓	✓			
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.2a	X	X	X	X		政策協働	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X		
		C6.1	✓	X	X	X				C12.3a	✓	✓	X	X		
		C6.2	✓	✓	X	X				C12.3b	✓	X	X	X		
		C6.3	✓	✓	X	X				C12.3c	✓	✓	X	X		
		C6.4	✓	X	X	X				C12.3d	✓	✓	X	X		
	追加的気候関連指標 (検証含む)	C6.4a	✓	✓	✓	✓	C12.3e	✓	X	X	X					
		C6.5	✓	✓	X	✓	C12.3f	✓	X	✓	X					
		C-RE6.6	✓	✓	X	X	C12.3g	✓	✓	X	X					
		C-RE6.6a	✓	✓	X	X	コミュニケーション	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓			
		C-RE6.6b	✓	X	X	X			C15.1	✓	X	✓	✓			
C-RE6.6c	✓	✓	X	X	最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓					
C6.7	✓	X	X	X	最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓					
C6.7a	✓	✓	X	X			最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓			
C6.10	✓	✓	✓	✓			X	最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓		

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020：建設セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020建設セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

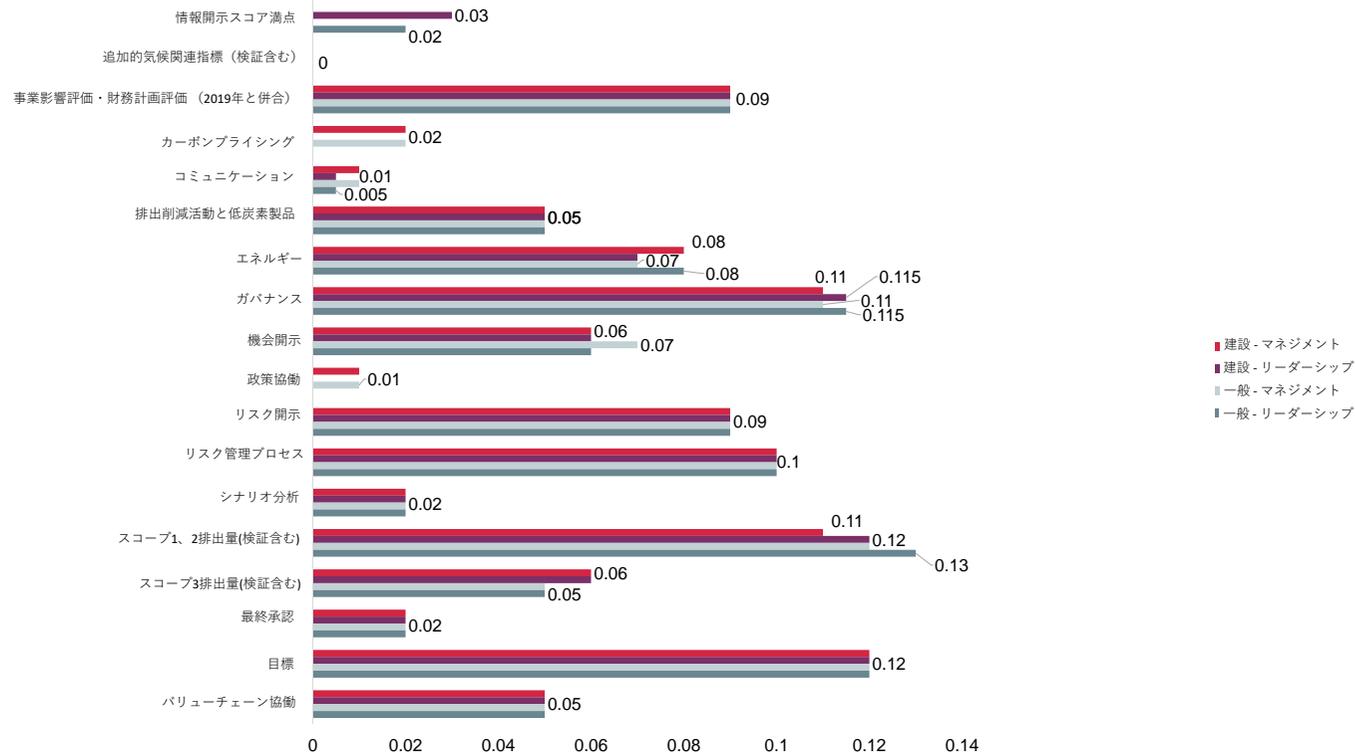
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なり、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

建設：重要なスコアリングカテゴリ

建設セクターの活動は、設計、材料製造、建設、ライフサイクルメンテナンスにまたがるバリューチェーンのさまざまなポイントでなされます。現在、建物は世界のGHG排出量の39%を占めています。これらの排出量のかなりの部分は、建設プロセス自体だけでなく、材料の製造（統合された排出量）や、建物の使用段階での運営上の排出量にも起因します。2060年までに現在の世界的な建物の床面積が2倍以上に設定されると、プロジェクトの完了前に、新しい建物、増築、改修、インフラ用の建設資材の需要が増大し、大幅かつ短期間での炭素排出が発生します。透明性のあるセクター固有のメトリックを報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」カテゴリと「スコープ3」カテゴリの重み付けの増加によって強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 建設セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、建設セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

建設スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X	
	探求対象外	C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X	
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X	
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X	
C-CN0.7		X	X	X	X	C7.3b			✓	✓	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X	
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.6	✓	X	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6b	✓	✓	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X	
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.9	✓	✓	X	X	
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.9a	✓	✓	✓	✓	
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X			C7.9b	✓	✓	X	X	
		C2.1a	✓	✓	X	X	C8.1	✓	✓	X	X			
		C2.1b	✓	X	✓	X	C8.2	✓	X	X	X			
		C2.2	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓	✓			
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X			
	リスク開示	C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	X	✓	X			
		C2.3	✓	X	X	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓			
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓	X			
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
		機会開示	C2.4	✓	X	X		X	C-CN9.6	✓	✓	X	X	
C2.4a	✓		✓	✓	✓	C-CN9.6a		✓	✓	X	X			
C2.4b	✓		✓	✓	✓	C-CN9.10		✓	X	X	X			
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X		追加的気候関連指標 (検証含む)	C-CN9.10a	✓	✓	X	X	
		C3.1a	✓	✓	X	X	C-CN9.11		✓	✓	X	X		
	シナリオ分析	C3.1b	✓	✓	✓	✓	検証		C10.1	✓	✓	✓	✓	
		C3.1c	✓	✓	✓	✓			スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1a	✓	X	✓	✓
	C3.1d	✓	✓	✓	✓	スコープ3排出量 (検証含む)				C10.1b	✓	X	✓	✓
	事業戦略・財務計画	C3.1e	✓	X	✓			✓		C10.1c	✓	X	✓	X
C3.1f		X	X	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)		C10.2	✓	✓	X	X		
C3.1g	✓	X	✓	✓	C10.2a		✓	✓	X	X				
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X	
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C11.1a	✓	X	X	X	
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C11.1b	✓	✓	X	X	
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			C11.1c	✓	✓	X	X	
		C4.2	✓	X	X	X			C11.1d	✓	✓	✓	X	
		C4.2a	✓	✓	✓	X			C11.2	✓	X	X	X	
	排出削減活動と低カーボン製品	C4.2b	✓	✓	X	X			C11.2a	✓	X	✓	X	
		C4.3	✓	✓	✓	X			C11.3	✓	✓	✓	X	
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C11.3a	✓	✓	✓	X	
		C4.3b	✓	✓	✓	X			バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C4.3c	✓	X	X	X				C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C4.3d	✓	X	✓	✓				C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C4.5	✓	X	X	X				C12.1d	✓	X	✓	X
C4.5a	✓	X	X	X	C12.1e	✓	✓	✓		✓				
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X	
		C5.2	✓	X	X	X			C12.3a	✓	✓	X	X	
		C5.2a	X	X	X	X			C12.3b	✓	X	X	X	
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X			C12.3c	✓	✓	X	X	
		C6.2	✓	✓	X	X			C12.3d	✓	✓	X	X	
		C6.3	✓	✓	X	X			C12.3e	✓	X	X	X	
		C6.4	✓	X	X	X			C12.3f	✓	X	✓	X	
		C6.4a	✓	✓	✓	X			C12.3g	✓	✓	X	X	
	追加的気候関連指標 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓			コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓
		C-CN6.6	✓	✓	X	X				最終承認	最終承認	C15.1	✓	X
		C-CN6.6a	✓	✓	X	X								
		C-CN6.6b	✓	X	X	X								
		C-CN6.6c	✓	✓	X	X								
C6.7	✓	X	X	X										
スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X									
	C6.10	✓	✓	✓	X									

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020： 資本財セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020資本財セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

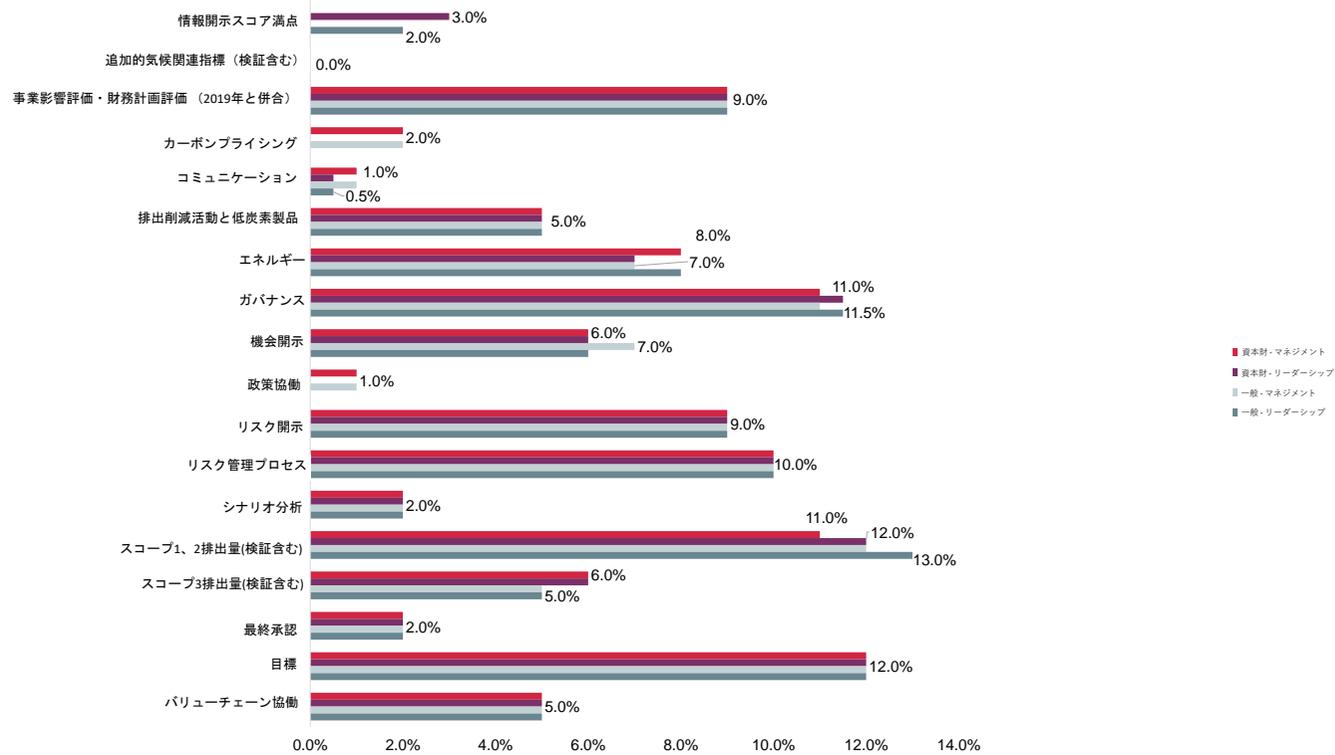
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

資本財：重要なスコアリングカテゴリ

資本財セクターは、発電、建設、輸送、産業などの主要な排出量の多い最終市場に、製品やサービスを提供しています。したがって、バリューチェーン（スコープ3）での間接排出はセクターの鍵であり、その大部分は販売された製品およびサービスの使用に関連しています。また、資本財生産者は、将来の競争上の成功を保証し、製品関連の規制に備えるために、間接排出プロファイルを理解し、製品関連の気候リスクを管理する必要があります。システム全体に変更の余地があるエネルギー効率の高い低炭素製品の研究開発への投資も、資本財セクターの低炭素化への移行の鍵となるでしょう。透明性のあるセクター固有のメトリックを報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」カテゴリと「スコープ3」カテゴリの重み付けの増加によって強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 資本財セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、資本財セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

資本財スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓
		C1.1b	✓	✓	✓	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓
		C1.2	✓	✓	✓	✓
		C1.2a	✓	✓	✓	X
		C1.3	✓	✓	✓	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X
		C2.1a	✓	✓	✓	✓
		C2.1b	✓	✓	✓	✓
		C2.2	✓	✓	✓	X
		C2.2a	✓	✓	✓	✓
		C2.2g	✓	✓	✓	✓
	リスク開示	C2.3	✓	✓	✓	✓
		C2.3a	✓	X	X	X
		C2.3b	✓	✓	✓	✓
	機会開示	C2.4	✓	✓	✓	✓
C2.4a		✓	X	X	X	
C2.4b		✓	✓	✓	✓	
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X
	シナリオ分析	C3.1a	✓	✓	X	X
		C3.1b	✓	✓	✓	✓
		C3.1c	✓	✓	✓	✓
		C3.1d	✓	✓	✓	✓
	事業戦略 & 財務計画	C3.1e	✓	X	✓	✓
		C3.1f	X	X	X	X
C3.1g	✓	X	✓	✓		
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X
		C4.1a	✓	✓	✓	✓
		C4.1b	✓	✓	✓	✓
		C4.1c	✓	✓	✓	✓
		C4.2	✓	X	X	X
		C4.2a	✓	✓	✓	X
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X
		C4.3a	✓	✓	✓	✓
		C4.3b	✓	✓	✓	X
		C4.3c	✓	X	X	X
		C4.3d	✓	X	✓	✓
		C4.5	✓	X	X	X
		C4.5a	✓	X	X	X
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X
		C5.2	✓	X	X	X
		C5.2a	X	X	X	X
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X
		C6.2	✓	✓	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X
		C6.4	✓	X	X	X
	C6.4a	✓	✓	✓	X	
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
排出量データ	追加的気候関連指標 (検証含む)	C-CG6.6	✓	✓	X	X	
		C-CG6.6a	✓	✓	X	X	
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7	✓	X	X	X	
		C6.7a	✓	✓	X	X	
		C6.10	✓	✓	✓	X	
		C7.1	✓	✓	X	X	
		C7.1a	✓	✓	X	X	
		C7.2	✓	✓	X	X	
		C7.3	✓	X	X	X	
		C7.3a	✓	✓	X	X	
排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.3b	✓	✓	X	X	
		C7.3c	✓	✓	X	X	
		C7.5	✓	✓	X	X	
		C7.6	✓	X	X	X	
		C7.6a	✓	✓	X	X	
		C7.6b	✓	✓	X	X	
		C7.6c	✓	✓	X	X	
		C7.9	✓	✓	X	X	
		C7.9a	✓	✓	✓	✓	
		C7.9b	✓	✓	X	X	
スコープ3排出量 (検証含む)	C-CG7.10	✓	✓	X	X		
	C-CG7.10a	✓	✓	X	X		
エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	X	X	X	
		C8.2	✓	X	X	X	
		C8.2a	✓	✓	✓	✓	
		C8.2b	✓	X	X	X	
		C8.2c	✓	✓	✓	X	
		C8.2d	✓	✓	X	X	
	C8.2e	✓	✓	✓	X		
	C8.2f	✓	✓	✓	X		
	追加的気候関連指標 (検証含む)	C-CG8.5	✓	✓	X	X	
		C-CG8.5a	✓	✓	X	X	
追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
検証	排出削減活動と低カーボン製品	C-CG9.6	✓	✓	X	X	
		C-CG9.6a	✓	✓	X	X	
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓	
		C10.1a	✓	X	✓	✓	
スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1b	✓	X	✓	✓		
	C10.1c	✓	X	✓	X		
カーボンプライシング	カーボンプライシング	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X
		C10.2a	✓	✓	X	X	
		C11.1	✓	X	X	X	
		C11.1a	✓	X	X	X	
		C11.1b	✓	✓	X	X	
		C11.1c	✓	✓	X	X	
		C11.1d	✓	✓	✓	X	
		C11.2	✓	X	X	X	
		C11.2a	✓	X	✓	X	
		C11.3	✓	✓	✓	X	
		C11.3a	✓	✓	✓	X	
		C12.1	✓	✓	✓	X	
		C12.1a	✓	✓	✓	✓	
		C12.1b	✓	✓	✓	✓	
C12.1d	✓	X	✓	X			
C12.1e	✓	✓	✓	✓			
エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X	
		C12.3a	✓	✓	X	X	
		C12.3b	✓	X	X	X	
		C12.3c	✓	✓	X	X	
		C12.3d	✓	✓	X	X	
		C12.3e	✓	X	X	X	
		C12.3f	✓	X	✓	X	
		C12.3g	✓	✓	X	X	
		コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓
		最終承認	最終承認	C14.1	✓	X	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 農業コモディティセクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020農業コモディティセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

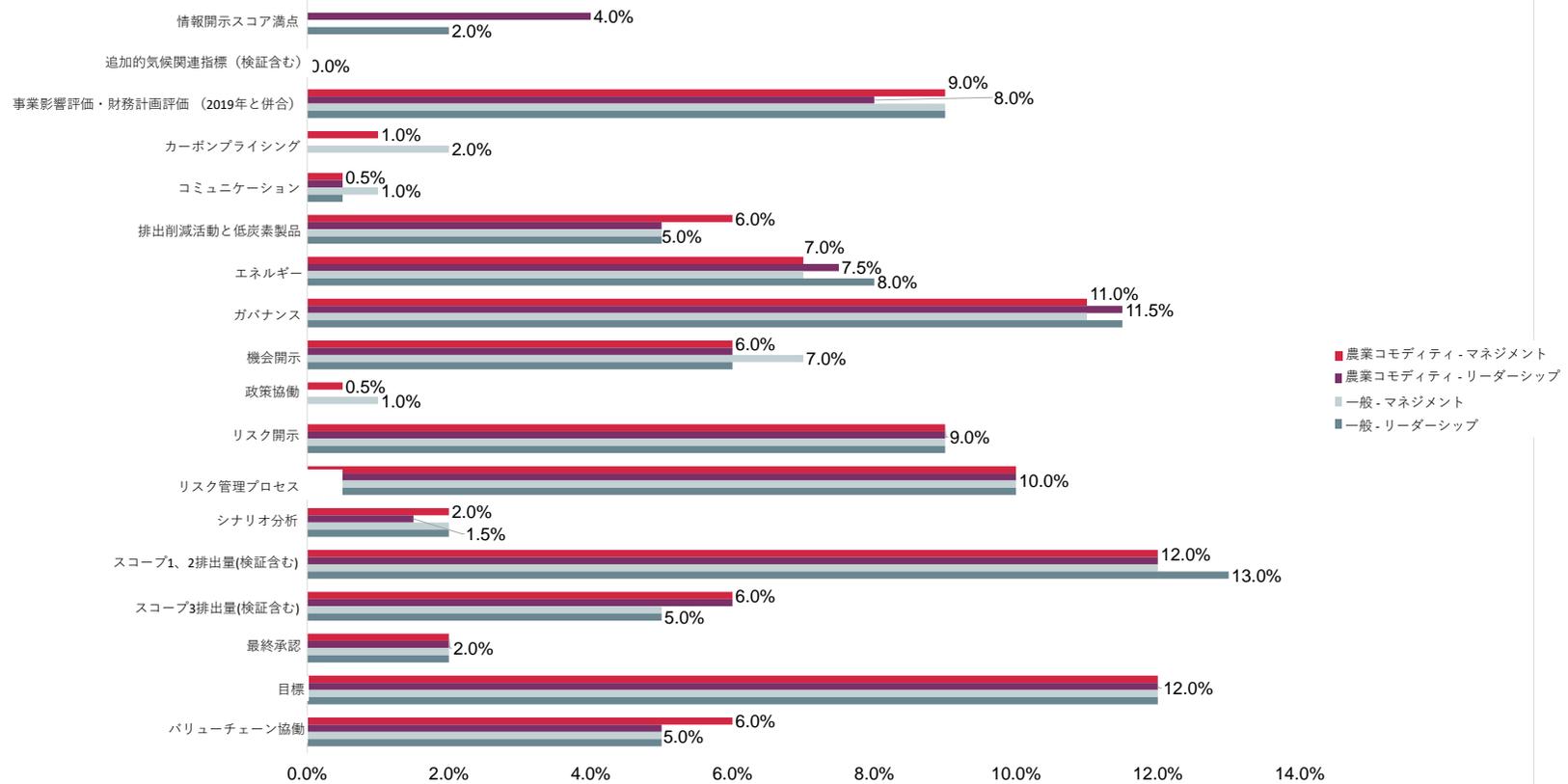
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

農業コモディティ:重要なスコアリングカテゴリ

農業コモディティセクターの活動には、食品・飲料・タバコセクターで食品、飲料、タバコ、消費財の製造、包装、およびマーケティングの原材料として使用される原材料（作物および／または家畜）の生産や加工が含まれます。直接的な土地活動が広く行われていることを考慮すると、農業コモディティセクターは根本的に天然資源に依存しており、したがって気候変動の影響を直接受けていると言えます。農業コモディティセクターに関連するリスクは、森林減少、森林劣化のリスク、および農場管理の慣行です。農業コモディティセクターのバリューチェーン全体における排出量が大きいリスクを考慮すると、このセクターの企業にとって、スコープ3排出量算定やバリューチェーン協働が非常に重要です。気候変動と低炭素移行計画は、排出削減活動と低炭素技術の導入を通して、このセクターの企業の事業戦略に統合されるべきです。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 農業コモディティセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、農業コモディティセクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

農業コモディティスコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.2	✓	✓	X	X
		C0.3	X	X	X	X			C6.3	✓	✓	X	X
		C0.4	X	X	X	X			C6.4	✓	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X			C6.4a	✓	✓	✓	X
		C-AC0.6	✓	X	X	X		C6.5	✓	✓	X	✓	
	ガバナンス	C-AC0.6a	✓	✓	X	X		C-AC6.6	✓	✓	X	X	
		C-AC0.6b	✓	✓	X	X		C-AC6.6a	✓	✓	X	X	
		C-AC0.6c	✓	✓	X	X		C-AC6.6b	✓	✓	X	X	
		C-AC0.6d	✓	✓	X	X		C-AC6.8a	✓	✓	X	X	
		C-AC0.6e	✓	✓	X	X		C-AC6.8a	✓	✓	X	X	
		C-AC0.6f	✓	✓	X	X		C-AC6.9	✓	✓	X	X	
		C-AC0.6g	✓	✓	X	X		C-AC6.9a	✓	✓	X	X	
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.1a	✓	✓	X	X
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.2	✓	✓	X	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.3	✓	X	X	X
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.3a	✓	✓	X	X
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.3b	✓	✓	X	X
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.3c	✓	✓	X	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-AC7.4	✓	✓	X	X
		C2.1	✓	✓	X	X			C-AC7.4a	✓	X	X	X
		C2.1a	✓	✓	X	X			C-AC7.4b	✓	✓	X	X
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.2	✓	✓	✓	✓	C-AC7.4c	✓	✓	X	X		
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C7.5	✓	✓	X	X		
		C2.2g	✓	✓	✓	✓	C7.6	✓	X	X	X		
	リスク開示	C2.3	✓	X	X	X	C7.6a	✓	✓	X	X		
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	X	X		
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C7.6c	✓	✓	X	X		
	機会開示	C2.4	✓	X	X	X	C7.9	✓	✓	X	X		
		C2.4a	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	✓		
		C2.4b	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X		
		C3.1	✓	✓	X	X	C8.1	✓	✓	X	X		
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1a	✓	✓	X	X	C8.2	✓	X	X	X		
		C3.1b	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓	✓		
		C3.1c	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X		
	シナリオ分析	C3.1d	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	X	✓	X		
		C3.1e	✓	X	✓	✓	C8.2d	✓	✓	✓	✓		
		C3.1f	X	X	X	X	C8.2e	✓	✓	✓	X		
		C3.1g	✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C10.1b	✓	X	✓	✓
		C4.1c	✓	✓	✓	✓		C10.1c	✓	X	✓	X	
		C4.2	✓	X	X	X		追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X
	排出削減活動と低カーボン製品	C4.2a	✓	✓	✓	X	C10.2a	✓	✓	X	X		
		C4.2b	✓	✓	X	X	C11.1	✓	X	X	X		
		C4.3	✓	✓	✓	X	C11.1a	✓	X	X	X		
		C4.3a	✓	✓	✓	✓	C11.1b	✓	✓	X	X		
		C4.3b	✓	✓	✓	X	C11.1c	✓	✓	X	X		
		C4.3c	✓	✓	X	X	C11.1d	✓	✓	✓	X		
		C4.3d	✓	X	✓	✓	C11.2	✓	X	X	X		
		C-AC4.4	✓	✓	X	X	C11.2a	✓	X	✓	X		
C-AC4.4a	✓	✓	X	X	C11.3	✓	✓	✓	X				
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C4.5	✓	X	X	X	C11.3a	✓	✓	✓	X		
		C4.5a	✓	X	X	X	C5.1	✓	X	X	X		
		C5.2	✓	X	X	X	C5.2a	X	X	X	X		

農業コモディティスコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	✓	✓	✓
		C-AC12.2	✓	✓	X	X
		C-AC12.2a	✓	✓	X	X
		C-AC12.2b	✓	✓	X	X
	C-AC12.2c	✓	✓	X	X	
	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X
		C12.3a	✓	✓	X	X
		C12.3b	✓	X	X	X
		C12.3c	✓	✓	X	X
		C12.3d	✓	✓	X	X
		C12.3e	✓	X	X	X
		C12.3f	✓	X	✓	X
	C12.3g	✓	✓	X	X	
コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓	
その他の土地管理 影響 排	排出削減活動と低カーボン製品	C-AC13.1	✓	✓	X	X
		C-AC13.1a	✓	✓	X	X
	バリューチェーン協働	C-AC13.2	✓	✓	X	X
		C-AC13.2a	✓	✓	X	X
最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 食品・飲料・タバコセクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020食品・飲料・タバコセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

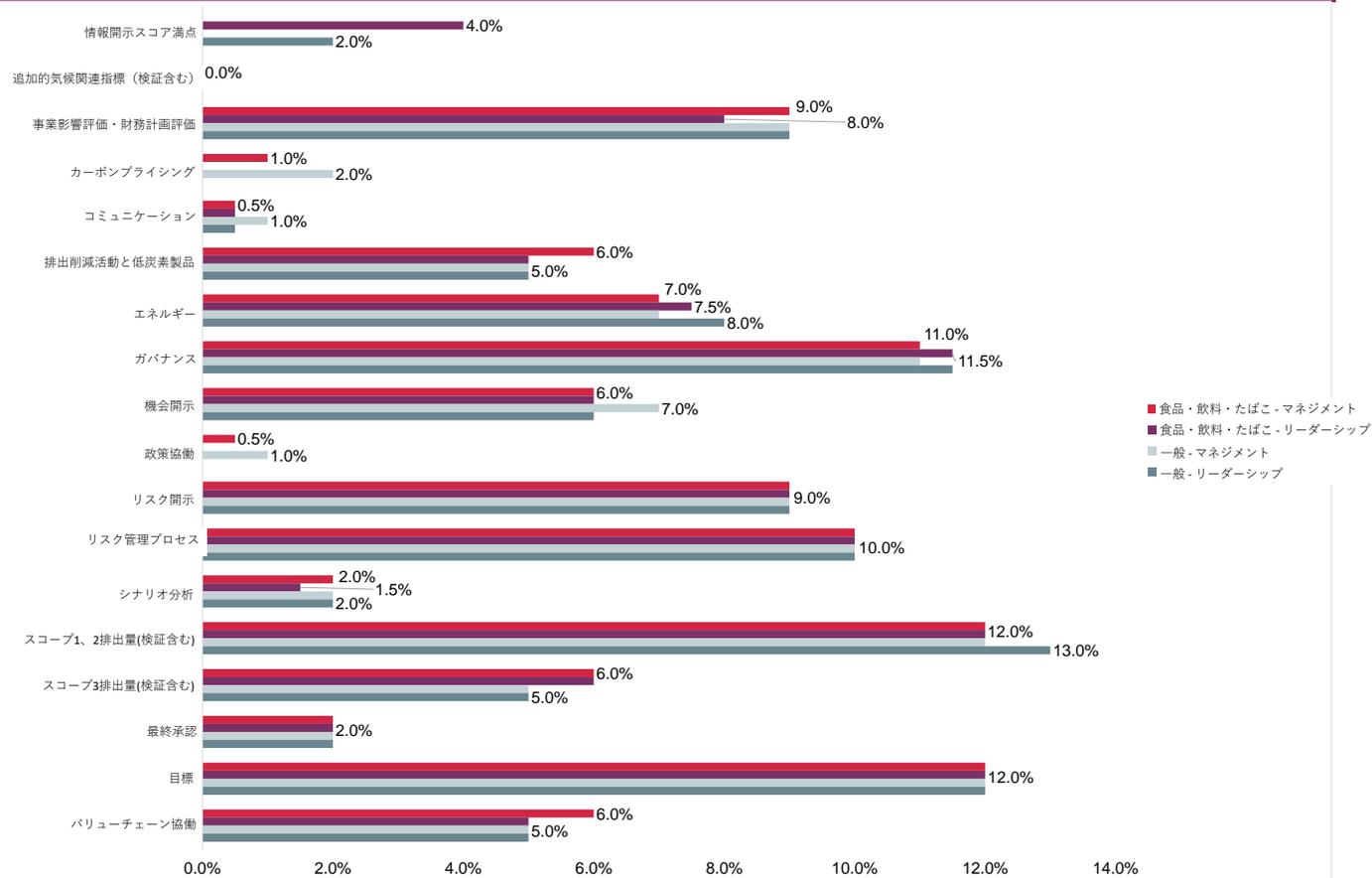
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境スチュワードシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境スチュワードシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

食品・飲料・タバコ:重要なスコアリングカテゴリ

食品・飲料・タバコセクターの活動には、食品、飲料、タバコ、消費財の加工（包装を含む）、製造、取引が含まれています。このセクターの企業は通常、農業コモディティセクターの企業から原材料を調達しています。従って、森林減少、森林劣化のリスク、および農場管理の慣行によるリスクといった、農業活動からのリスクを潜在的に抱えていると言えます。また、食品、飲料、タバコ製品の加工、製造、包装には、機器、貯蔵施設および輸送からの温室効果ガス排出といったリスクも存在しています。従って、バリューチェーン協働やスコープ3排出量算定はこのセクターの企業がリスクに対処するために非常に重要な項目です。気候変動と低炭素移行計画は、排出削減活動と低炭素技術の導入を通して、このセクターの企業の事業戦略に統合されるべきです。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 食品・飲料・タバコセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、食品・飲料・タバコセクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

食品・飲料・タバコスコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.2	✓	✓	X	X
		C0.3	X	X	X	X			C6.3	✓	✓	X	X
		C0.4	X	X	X	X			C6.4	✓	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X			C6.4a	✓	✓	✓	X
		C-FB0.6	✓	X	X	X		C6.5	✓	✓	X	✓	
	ガバナンス	C-FB0.6a	✓	✓	X	X		スコープ3排出量 (検証含む)	C-FB6.6	✓	✓	X	X
		C-FB0.6b	✓	✓	X	X			C-FB6.6a	✓	✓	X	X
		C-FB0.6c	✓	✓	X	X			C-FB6.6b	✓	✓	X	X
		C-FB0.6d	✓	✓	X	X		スコープ1,2排出量 (検証含む)	C-FB6.8	✓	✓	X	X
		C-FB0.6e	✓	✓	X	X			C-FB6.8a	✓	✓	X	X
		C-FB0.6f	✓	✓	X	X		追加的気候関連指標 (検証含む)	C-FB6.9	✓	✓	X	X
		C-FB0.6g	✓	✓	X	X			C-FB6.9a	✓	✓	X	X
C-FB0.7	✓	✓	X	X	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.10	✓	✓	✓	X			
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.1a	✓	✓	X	X
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.2	✓	✓	X	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.3	✓	X	X	X
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.3a	✓	✓	X	X
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.3b	✓	✓	X	X
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.3c	✓	✓	X	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-FB7.4	✓	✓	X	X
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X			C-FB7.4a	✓	X	X	X
		C2.1a	✓	✓	X	X			C-FB7.4b	✓	✓	X	X
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C-FB7.4c	✓	✓	X	X
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X
		C2.2g	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X
	リスク開示	C2.3	✓	X	X	X			C7.6a	✓	✓	X	X
		C2.3a	✓	✓	✓	✓			C7.6b	✓	✓	X	X
		C2.3b	✓	✓	✓	✓			C7.6c	✓	✓	X	X
	機会開示	C2.4	✓	X	X	X			C7.9	✓	✓	X	X
		C2.4a	✓	✓	✓	✓			C7.9a	✓	✓	✓	✓
C2.4b	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓			✓	X	X		
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X			エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓
	シナリオ分析	C3.1a	✓	✓	X	X	C8.2	✓			X	X	X
		C3.1b	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓			✓	✓	✓
		C3.1c	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓			X	X	X
	事業戦略 & 財務計画	C3.1d	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓			X	✓	X
		C3.1e	✓	X	✓	✓	C8.2d	✓			✓	✓	✓
		C3.1f	X	X	X	X	C8.2e	✓			✓	✓	X
C3.1g		✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C10.1b	✓	X	✓	✓
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓
		C4.2	✓	X	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2		✓	✓	X	X
		C4.2a	✓	✓	✓	X		C10.2a	✓	✓	X	X	
		C4.2b	✓	✓	X	X	カーボンライティング	カーボンライティング	C11.1	✓	X	X	X
	C4.3	✓	✓	✓	X	C11.1a			✓	X	X	X	
	C4.3a	✓	✓	✓	✓	C11.1b			✓	✓	X	X	
	C4.3b	✓	✓	✓	X	C11.1c			✓	✓	X	X	
	C4.3c	✓	✓	X	X	C11.1d			✓	✓	✓	X	
	C4.3d	✓	X	✓	✓	C11.2a			✓	X	X	X	
	C-FB4.4	✓	✓	X	X	C11.2a			✓	X	X	X	
C-FB4.4a	✓	✓	X	X	C11.3	✓			✓	✓	X		
C4.5	✓	X	X	X	C11.3a	✓			✓	✓	X		
C4.5a	✓	X	X	X									
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X							
		C5.2	✓	X	X	X							
		C5.2a	X	X	X	X							

食品・飲料・タバコスコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	✓	✓	✓
		C-FB12.2	✓	✓	X	X
		C-FB12.2a	✓	✓	X	X
		C-FB12.2b	✓	✓	X	X
		C-FB12.2c	✓	✓	X	X
	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X
		C12.3a	✓	✓	X	X
		C12.3b	✓	X	X	X
		C12.3c	✓	✓	X	X
		C12.3d	✓	✓	X	X
		C12.3e	✓	X	X	X
		C12.3f	✓	X	✓	X
C12.3g	✓	✓	X	X		
コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓	
その他の土地管理 影響 排	排出削減活動と低カーボン製品	C-FB13.1	✓	✓	X	X
		C-FB13.1a	✓	✓	X	X
	バリューチェーン協働	C-FB13.2	✓	✓	X	X
		C-FB13.2a	✓	✓	X	X
最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020：製紙林業セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020製紙・林業セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

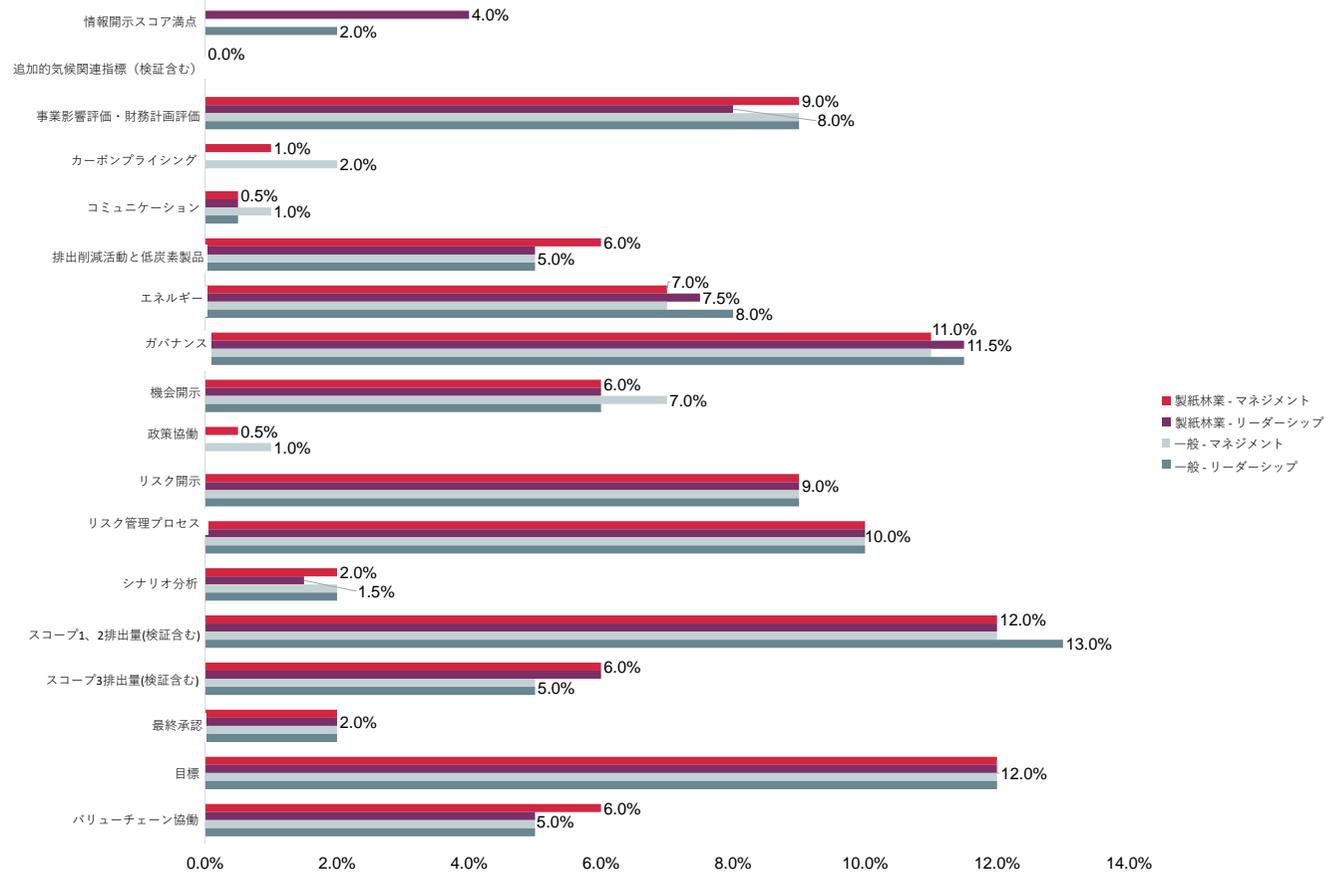
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

製紙林業：重要なスコアリングカテゴリ

製紙・林業セクターの活動には、木材や木材を基本とした製品の製造および／または調達が含まれます。製紙・林業セクターに関連するリスクはバリューチェーン全体に広がっており、さまざまな要因に起因しています。例えば、持続可能でない森林管理活動、施設や上流・下流の輸送や配送のエネルギー利用におけるバイオ燃料としての木材の利用、農園／機器の残留物からの廃棄物管理などです。バリューチェーン全体における排出量が大きいリスクを考慮すると、このセクターの企業にとって、スコープ3排出量算定やバリューチェーン協働が非常に重要です。気候変動と低炭素移行計画は、排出削減活動と低炭素技術の導入を通して、このセクターの企業の事業戦略に統合されるべきです。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、“情報開示スコア満点”のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 製紙林業セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、製紙・林業セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

製紙林業スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C6.2	✓	✓	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C6.3	✓	✓	X	X	
		C0.4	X	X	X	X			C6.4	✓	X	X	X	
		C0.5	X	X	X	X			C6.4a	✓	✓	✓	✓	
		C6.5	✓	✓	X	✓								
	ガバナンス	C-PF0.6	✓	X	X	X		スコープ3排出量 (検証含む)	C-PF6.6	✓	✓	X	X	
		C-PF0.6a	✓	✓	X	X			C-PF6.6a	✓	✓	X	X	
		C-PF0.6b	✓	✓	X	X			C-PF6.6b	✓	✓	X	X	
		C-PF0.6c	✓	✓	X	X			スコープ1,2排出量 (検証含む)	C-PF6.8	✓	✓	X	X
C-PF0.6d		✓	✓	X	X	C-PF6.8a	✓	✓		X	X			
C-PF0.6e		✓	✓	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	C-PF6.9	✓		✓	X	X		
C-PF0.6f		✓	✓	X	X		C-PF6.9a	✓	✓	X	X			
C-PF0.7	✓	✓	X	X	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.10	✓	✓	✓	X				
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X	
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.1a	✓	✓	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.2	✓	✓	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.3	✓	X	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.3a	✓	✓	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.3b	✓	✓	X	X	
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.3c	✓	✓	X	X	
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-PF7.4	✓	✓	X	X	
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X			C-PF7.4a	✓	X	X	X	
		C2.1a	✓	✓	X	X			C-PF7.4b	✓	✓	X	X	
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C-PF7.4c	✓	✓	X	X	
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X	
	リスク開示	C2.2g	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X	
		C2.3	✓	X	X	X			C7.6a	✓	✓	X	X	
		C2.3a	✓	✓	✓	✓			C7.6b	✓	✓	X	X	
	機会開示	C2.3b	✓	✓	✓	✓			C7.6c	✓	✓	X	X	
		C2.4	✓	X	X	X	C7.9	✓	✓	X	X			
		C2.4a	✓	✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	✓			
C2.4b	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	X	X					
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X	エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X	
	シナリオ分析	C3.1a	✓	✓	X	X			C8.2	✓	X	X	X	
		C3.1b	✓	✓	✓	✓			C8.2a	✓	✓	✓	✓	
		C3.1c	✓	✓	✓	✓			C8.2b	✓	X	X	X	
		C3.1d	✓	X	✓	✓			C8.2c	✓	X	✓	X	
	事業戦略 & 財務計画	C3.1e	✓	X	✓	✓			C8.2d	✓	✓	✓	✓	
		C3.1f	X	X	X	X			C8.2e	✓	✓	✓	X	
C3.1g		✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X			
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓	
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓	
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C10.1b	✓	X	✓	✓	
		C4.1c	✓	✓	✓	✓		スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	X	
		C4.2	✓	X	X	X			追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X
		C4.2a	✓	✓	✓	X			C10.2a	✓	✓	X	X	
	排出削減活動と低カーボン製品	C4.2b	✓	✓	X	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X	
		C4.3	✓	✓	✓	X			C11.1a	✓	X	X	X	
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C11.1b	✓	✓	X	X	
		C4.3b	✓	✓	✓	X			C11.1c	✓	✓	X	X	
		C4.3c	✓	✓	X	X			C11.1d	✓	✓	✓	X	
		C4.3d	✓	X	✓	✓			C11.2	✓	X	X	X	
		C-PF4.4	✓	✓	X	X			C11.2a	✓	X	✓	X	
C-PF4.4a	✓	✓	X	X	C11.3	✓			✓	✓	X			
C4.5	✓	X	X	X	C11.3a	✓			✓	✓	X			
C4.5a	✓	X	X	X										
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	C5.2	✓	X	X	X			
		C5.2	✓	X	X	X	C5.2a	X	X	X	X			
		C5.2a	X	X	X	X								

製紙林業スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C12.1d	✓	X	✓	X
		C12.1e	✓	✓	✓	✓
		C-PF12.2	✓	✓	X	X
		C-PF12.2a	✓	✓	X	X
		C-PF12.2b	✓	✓	X	X
	C-PF12.2c	✓	✓	X	X	
	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X
		C12.3a	✓	✓	X	X
		C12.3b	✓	X	X	X
		C12.3c	✓	✓	X	X
		C12.3d	✓	✓	X	X
		C12.3e	✓	X	X	X
		C12.3f	✓	X	✓	X
	C12.3g	✓	✓	X	X	
コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓	
その他の土地管理 影響 排	排出削減活動と低カーボン製品	C-PF13.1	✓	✓	X	X
		C-PF13.1a	✓	✓	X	X
	バリューチェーン協働	C-PF13.2	✓	✓	X	X
		C-PF13.2a	✓	✓	X	X
最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: セメントセクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020セメントセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

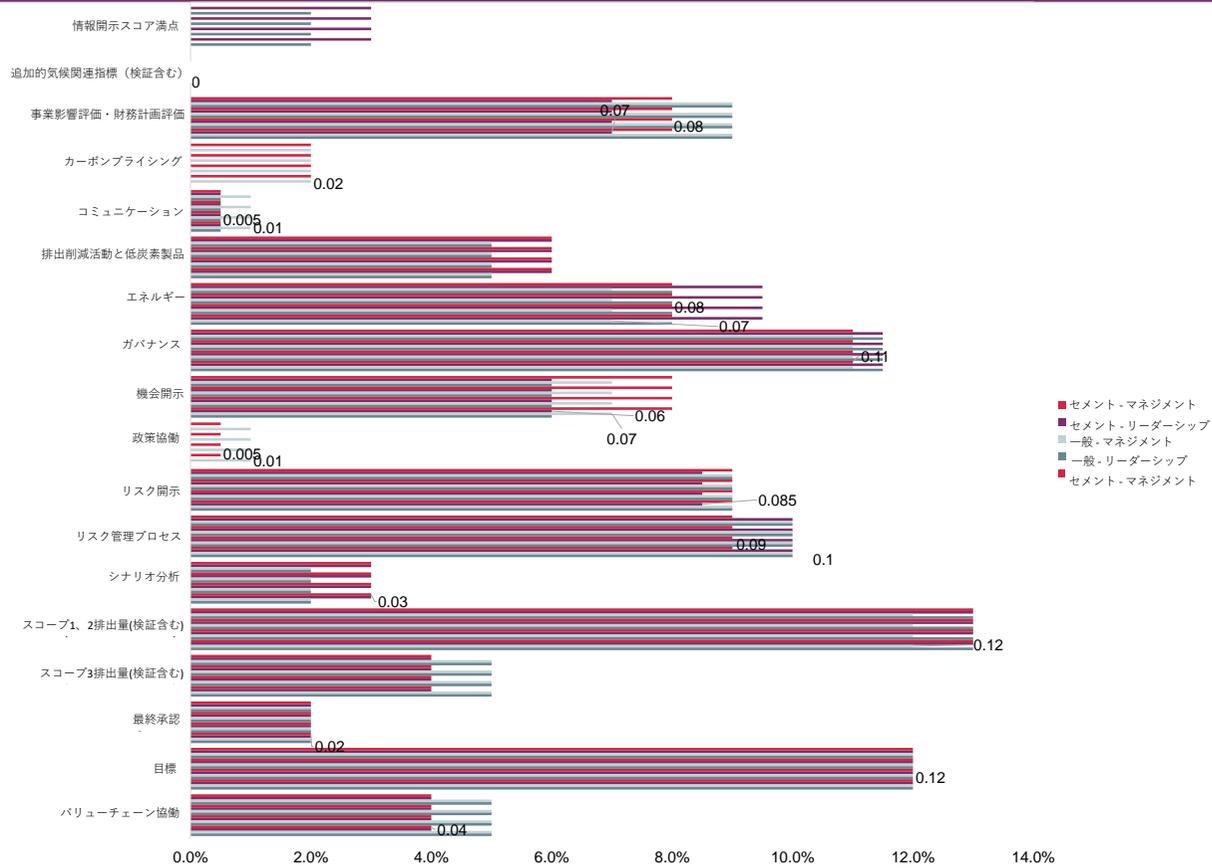
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

セメント:重要なスコアリングカテゴリ

セメント生産はエネルギー多消費のプロセスです。セメント生産時のGHG排出の多くは、主要な原材料を加熱するのに必要な化石燃料の燃焼に由来します。さらに、製造時のプロセス排出として、多くのCO₂が排出されます。従って、エネルギー消費や発電の内訳、排出量算定、排出実績や第三者検証といったことが特に重要な項目となります。エネルギー効率化、燃料転換、クリンカー含有量の削減、仮焼炉および予熱技術により効率的な乾式プロセススキルンへの意向といった排出削減活動や低カーボン製品の導入がセメントセクターの排出削減に繋がります。このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮する必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、"情報開示スコア満点"のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: セメントセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、セメントセクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

セメントスコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X	
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X	
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X	
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X	
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X	
C-CE0.7		X	X	X	X	C7.3b			✓	✓	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X	
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C-CE7.4	✓	X	X	X	
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.5	✓	✓	X	X	
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X	
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X	
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X	
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X	
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-CE7.7	✓	X	X	X	
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X			C7.9	✓	✓	X	X	
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.9a	✓	✓	✓	✓	
		C2.1b	✓	X	✓	X			C7.9b	✓	✓	X	X	
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X	
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X	
	リスク開示	C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓	✓			
		C2.3	✓	X	X	X	C-CE8.2a	✓	✓	X	X			
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X			
	機会開示	C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	X	✓	X			
		C2.4	✓	X	X	X	C-CE8.2c	✓	✓	X	X			
C2.4a		✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	✓	✓				
C2.4b		✓	✓	✓	✓	C-CE8.2d	✓	✓	X	X				
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X	
	シナリオ分析	C3.1a	✓	✓	X	X			排出削減活動と低カーボン製品	C-CE9.6	✓	✓	X	X
		C3.1b	✓	✓	✓	✓	C-CE9.6a	✓	✓	X	X			
		C3.1c	✓	✓	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓	
	C3.1d	✓	✓	✓	✓	C10.1a			✓	X	✓	✓		
	C3.1e	✓	X	✓	✓	C10.1b			✓	X	✓	✓		
	事業戦略 & 財務計画	C3.1f	X	X	X	X		スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	X	
C3.1g		✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)			C10.2	✓	✓	X	X	
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C10.2a	✓	✓	X	X	
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C11.1	✓	X	X	X	
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C11.1a	✓	X	X	X	
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			C11.1b	✓	✓	X	X	
		C4.2	✓	X	X	X			C11.1c	✓	✓	X	X	
	排出削減活動と低カーボン製品	C4.2a	✓	✓	✓	X			C11.1d	✓	✓	✓	X	
		C4.2b	✓	✓	X	X			C11.2	✓	X	X	X	
		C4.3	✓	✓	✓	X			C11.2a	✓	X	✓	X	
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C11.3	✓	✓	✓	X	
		C4.3b	✓	✓	✓	X			C11.3a	✓	✓	✓	X	
		C4.3c	✓	X	X	X			バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
		C4.3d	✓	X	✓	✓				C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C4.5	✓	X	X	X				C12.1b	✓	✓	✓	✓
		C4.5a	✓	X	X	X				C12.1d	✓	X	✓	X
		C-CE4.9	✓	X	X	X				C12.1e	✓	✓	✓	✓
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X	
		C5.2	✓	X	X	X			C12.3a	✓	✓	X	X	
		C5.2a	X	X	X	X			C12.3b	✓	X	X	X	
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X			C12.3c	✓	✓	X	X	
		C6.2	✓	✓	X	X			C12.3d	✓	✓	X	X	
		C6.3	✓	✓	X	X			C12.3e	✓	X	X	X	
		C6.4	✓	X	X	X			C12.3f	✓	X	✓	X	
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.4a	✓	✓	✓	X			C12.3g	✓	✓	X	X	
		C6.5	✓	✓	X	✓			コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓
		C6.7	✓	X	X	X				最終承認	最終承認	C15.1	✓	X
スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X									
	C6.10	✓	✓	✓	X									
	C-CE6.11	✓	✓	X	X									

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 化学セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020化学セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

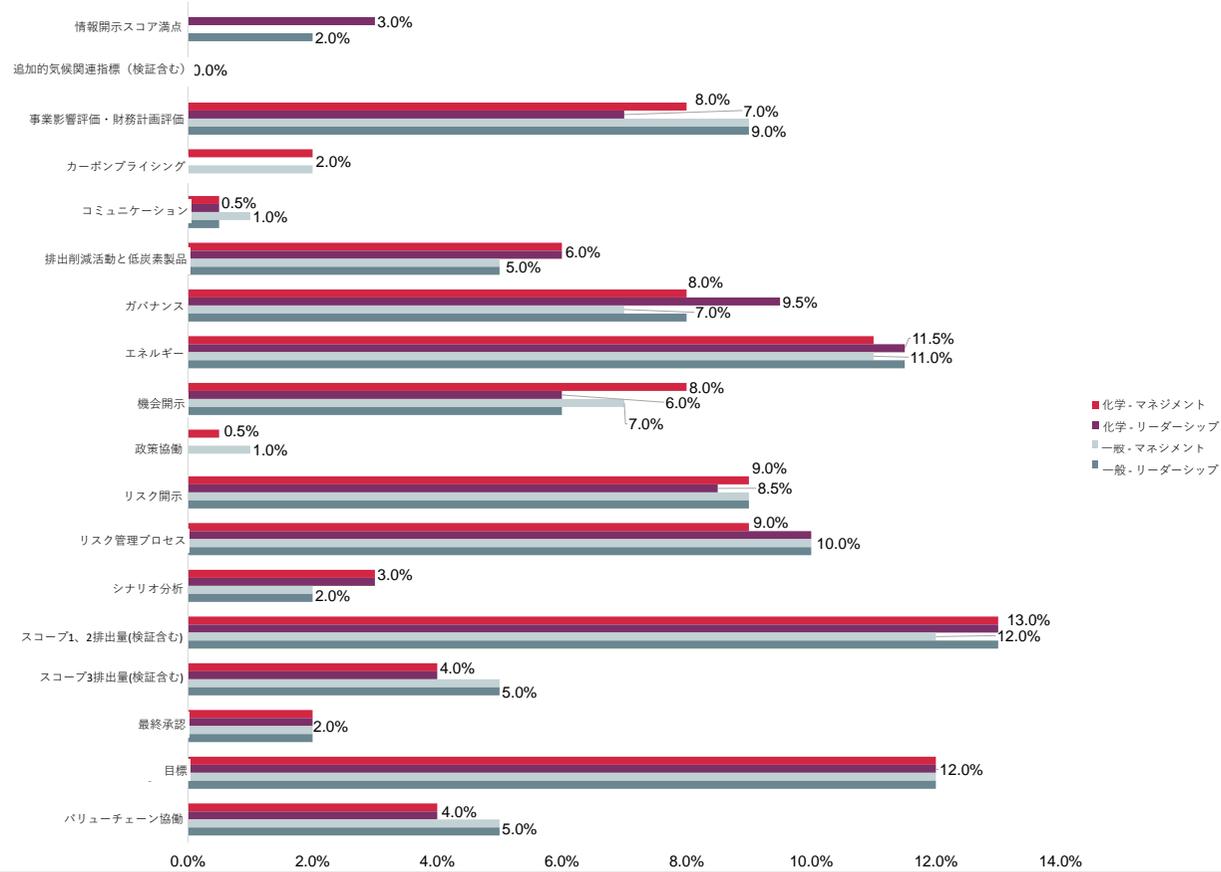
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

化学:重要なスコアリングカテゴリ

化学セクターは多様であり、非常に多様な製品を生み出しています。化学セクターの排出量の大部分は、製造工程での化石燃料の燃焼、または製造工程での化学物質の排出に由来します。エネルギー消費量とその内訳、排出量算定、排出実績と第三者検証は、このセクターの企業にとって特に重要です。プロセスの再設計、コージェネレーションによる熱生産効率の向上、燃料転換といった排出削減活動や低カーボン製品の導入は、このセクターの排出削減に繋がります。使用する原材料によっては、このセクターでは上流からの排出量が多いため、化石燃料からバイオ燃料への原料の切り替えによっても排出量が大幅に削減される可能性があります。このセクターの企業は気候変動と低炭素移行計画を事業戦略で考慮する必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 化学セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、化学セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

化学スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓		
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X		
		C0.3	X	X	X	X		
		C0.4	X	X	X	X		
		C0.5	X	X	X	X		
		C-CH0.7	X	X	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓		
		C1.1b	✓	✓	✓	X		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓		
		C1.2	✓	✓	✓	✓		
		C1.2a	✓	X	✓	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓		
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X
				C2.1a	✓	✓	X	X
C2.1b	✓			X	✓	X		
C2.2	✓			✓	✓	✓		
C2.2a	✓			✓	✓	✓		
リスク開示	C2.3		✓	X	X	X		
	C2.3a		✓	✓	✓	✓		
	C2.3b		✓	✓	✓	✓		
機会開示	C2.4		✓	X	X	X		
	C2.4a		✓	✓	✓	✓		
事業戦略 & 財務計画	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X		
		C3.1a	✓	✓	X	X		
	シナリオ分析	C3.1b	✓	✓	✓	✓		
		C3.1c	✓	✓	✓	✓		
		C3.1d	✓	✓	✓	✓		
	事業戦略 & 財務計画	C3.1e	✓	X	✓	✓		
		C3.1f	X	X	X	X		
		C3.1g	✓	X	✓	✓		
		目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X
				C4.1a	✓	✓	✓	✓
C4.1b	✓			✓	✓	✓		
C4.1c	✓			✓	✓	✓		
C4.2	✓			X	X	X		
排出削減活動と低カーボン製品	C4.2a		✓	✓	✓	X		
	C4.2b		✓	✓	X	X		
	C4.3		✓	✓	✓	X		
	C4.3a		✓	✓	✓	✓		
	C4.3b		✓	✓	✓	X		
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C4.3c	✓	X	X	X		
		C4.3d	✓	X	✓	✓		
		C4.5	✓	X	X	X		
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C4.5a	✓	X	X	X		
		C5.1	✓	X	X	X		
		C5.2	✓	X	X	X		
		C5.2a	X	X	X	X		
		C6.1	✓	X	X	X		
		C6.2	✓	✓	X	X		
		C6.3	✓	✓	X	X		
スコープ3排出量 (検証含む)	C6.4	✓	X	X	X			
	C6.4a	✓	✓	✓	X			
	C6.5	✓	✓	X	✓			
	C6.7	✓	X	X	X			
スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X			
	C6.10	✓	✓	✓	X			

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X		
		C7.1a	✓	✓	X	X		
		C7.2	✓	✓	X	X		
		C7.3	✓	X	X	X		
		C7.3a	✓	✓	X	X		
		C7.3b	✓	✓	X	X		
		C7.3c	✓	✓	X	X		
		C-CH7.4	✓	X	X	X		
		C7.5	✓	✓	X	X		
		C7.6	✓	X	X	X		
		C7.6a	✓	✓	X	X		
		C7.6b	✓	✓	X	X		
		C7.6c	✓	✓	X	X		
		C-CH7.7	✓	X	X	X		
		C-CH7.8	✓	X	X	X		
	スコープ3排出量 (検証含む)	C-CH7.8a	✓	✓	X	X		
		スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.9	✓	✓	X	X	
			C7.9a	✓	✓	✓	✓	
	C7.9b		✓	✓	X	X		
	エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X	
C8.2			✓	X	X	X		
C8.2a			✓	✓	✓	✓		
C-CH8.2a			✓	✓	X	X		
C8.2b			✓	X	X	X		
C8.2c			✓	X	✓	X		
C8.2d			✓	✓	✓	✓		
C-CH8.2d			✓	✓	X	X		
C8.2e			✓	✓	✓	X		
C-CH8.3			✓	X	X	X		
C-CH8.3a			✓	✓	X	X		
C-CH8.3b			✓	✓	X	X		
追加的気候関連指標			追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X
				C-CH9.3a	✓	✓	X	X
			排出削減活動と低カーボン製品	C-CH9.6	✓	✓	X	X
	C-CH9.6a	✓		✓	X	X		
検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓		
		C10.1a	✓	X	✓	✓		
		C10.1b	✓	X	✓	✓		
	スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	X		
		追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X	
C10.2a	✓		✓	X	X			
カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X		
		C11.1a	✓	X	X	X		
		C11.1b	✓	✓	X	X		
		C11.1c	✓	✓	X	X		
		C11.1d	✓	✓	✓	X		
		C11.2	✓	X	X	X		
		C11.2a	✓	X	✓	X		
		C11.3	✓	✓	✓	X		
		C11.3a	✓	✓	✓	X		
		エンゲージメント	パブリックチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
				C12.1a	✓	✓	✓	✓
				C12.1b	✓	✓	✓	✓
				C12.1d	✓	X	✓	X
				C12.1e	✓	✓	✓	✓
			政策協働	C12.3	✓	✓	X	X
C12.3a	✓			✓	X	X		
C12.3b	✓			X	X	X		
C12.3c	✓			✓	X	X		
C12.3d	✓			✓	X	X		
コミュニケーション	C12.3e	✓	X	X	X			
	C12.3f	✓	X	✓	X			
	C12.3g	✓	✓	X	X			
	C12.4	✓	X	✓	✓			
	最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓	

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 金属鉱業セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020金属鉱業セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

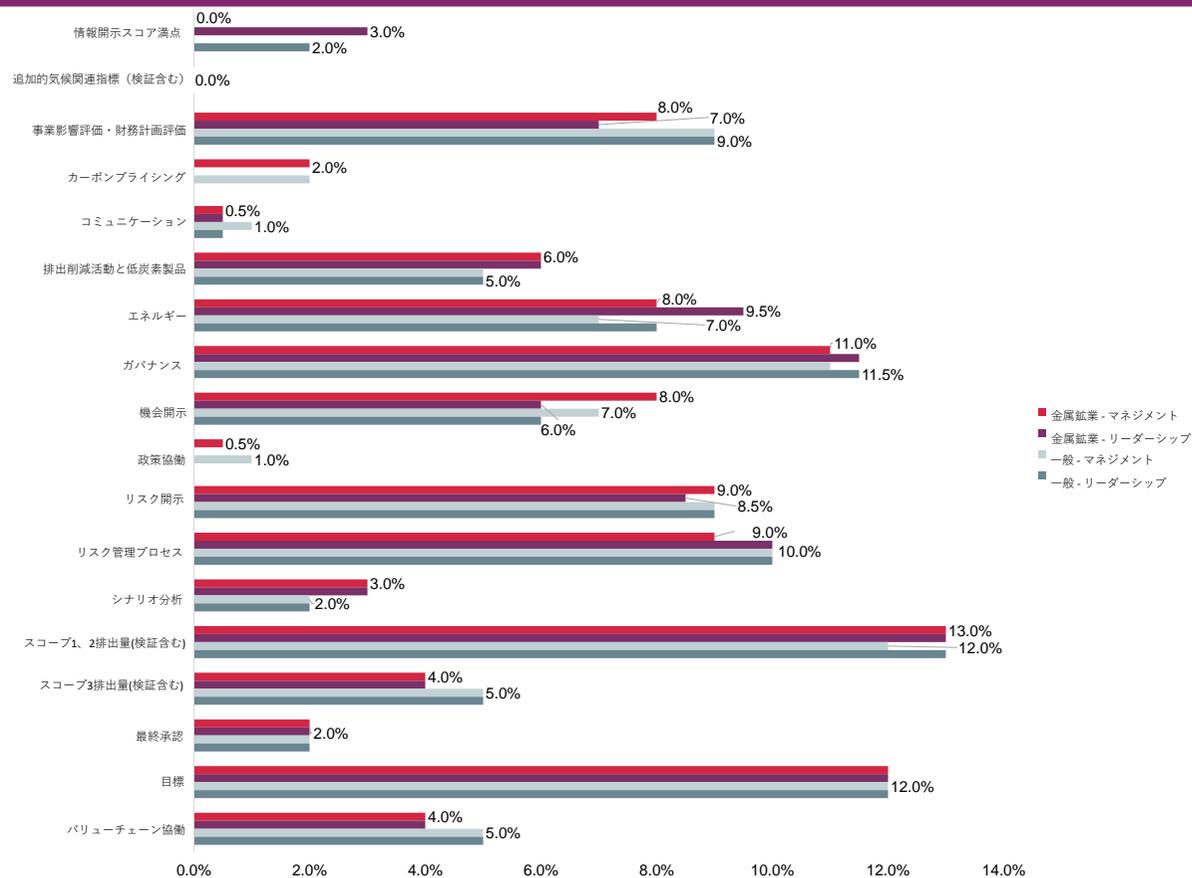
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

金属鉱業:重要なスコアリングカテゴリ

金属・鉱業セクターは、多種多様な製品のライフサイクルの第一段階です。このセクターからの排出量は、化石燃料の燃焼および材料の加工中に鉱山現場で発生します。そのため、スコープ1、2排出量の算定、排出実績、第三者検証は特に重要な項目です。リサイクル率の向上、再生可能や低炭素電力の購入増加、電力網に接続していない遠隔の鉱山では特に重要であろう製造現場での発電を通して、排出削減活動や低カーボン製品の導入は、このセクターからの排出削減に繋がります。燃料転換やエネルギー効率の改善が金属加工設備では必要となっているため、エネルギー消費量とその内訳の開示がこのセクターにとって重要な項目です。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 金属鉱業セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、金属・鉱業セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

金属鉱業スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点 採点対象外	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X
		C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X
		C-MM0.7	X	X	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C-MM7.4	✓	X	X	X
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.5	✓	✓	X	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-MM7.7	✓	X	X	X
		C2.1	✓	✓	X	X			C7.9	✓	✓	X	X
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.9a	✓	✓	✓	✓
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1b	✓	X	✓	X			C7.9b	✓	✓	X	X
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X
		C2.2g	✓	✓	✓	✓			C8.2a	✓	✓	✓	✓
		C2.3	✓	X	X	X	C-MM8.2a	✓	✓	X	X		
	リスク開示	C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X		
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	X	✓	X		
		C2.4	✓	X	X	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓		
	機会開示	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C-MM8.2d	✓	✓	X	X		
		C2.4b	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓	X		
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X
		C3.1a	✓	✓	X	X			C-MM9.3a	✓	✓	X	X
		C3.1b	✓	✓	✓	✓			C-MM9.3b	✓	✓	X	X
	C3.1c	✓	✓	✓	✓	排出削減活動と低カーボン製品			C-MM9.6	✓	✓	X	X
	C3.1d	✓	✓	✓	✓		C-MM9.6a	✓	✓	X	X		
	事業戦略 & 財務計画	C3.1e	✓	X	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓
		C3.1f	X	X	X	X			C10.1a	✓	X	✓	✓
C3.1g		✓	X	✓	✓	C10.1b			✓	X	✓	✓	
C4.1		✓	✓	✓	X	追加的気候関連指標 (検証含む)			C10.2	✓	✓	X	X
C4.1a	✓	✓	✓	✓	C10.2a				✓	✓	X	X	
目標と実績	目標	C4.1b	✓	✓	✓	✓			カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C11.1a	✓			X	X	X
		C4.2	✓	X	X	X	C11.1b	✓			✓	X	X
		C4.2a	✓	✓	✓	X	C11.1c	✓			✓	X	X
		C4.2b	✓	✓	X	X	C11.1d	✓			✓	✓	X
	排出削減活動と低炭素製品	C4.3	✓	✓	✓	X	C11.2	✓			X	X	X
		C4.3a	✓	✓	✓	✓	C11.2a	✓			X	✓	X
		C4.3b	✓	✓	✓	X	C11.2a	✓			X	✓	X
		C4.3c	✓	X	X	X	C11.3	✓			✓	✓	X
		C4.3d	✓	X	✓	✓	C11.3a	✓			✓	✓	X
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C4.5	✓	X	X	X	バリウチェーン協働	バリウチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	✓
		C4.5a	✓	X	X	X			C12.1a	✓	✓	✓	✓
		C5.1	✓	X	X	X			C12.1b	✓	✓	✓	✓
C5.2	✓	X	X	X	C12.1d	✓			X	✓	X		
C5.2a	X	X	X	X	C12.1e	✓			✓	✓	✓		
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X
		C6.2	✓	✓	X	X			C12.3a	✓	✓	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X			C12.3b	✓	X	X	X
		C6.4	✓	X	X	X			C12.3c	✓	✓	X	X
		C6.4a	✓	✓	✓	X			C12.3d	✓	✓	X	X
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓			C12.3e	✓	X	X	X
		C6.7	✓	X	X	X			C12.3f	✓	X	✓	X
		C6.7a	✓	✓	X	X			C12.3g	✓	✓	X	X
		C6.10	✓	✓	✓	✓			C12.4	✓	X	✓	✓
		最終承認	最終承認	C15.1	✓	X			✓	✓			

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 鉄鋼セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020鉄鋼セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

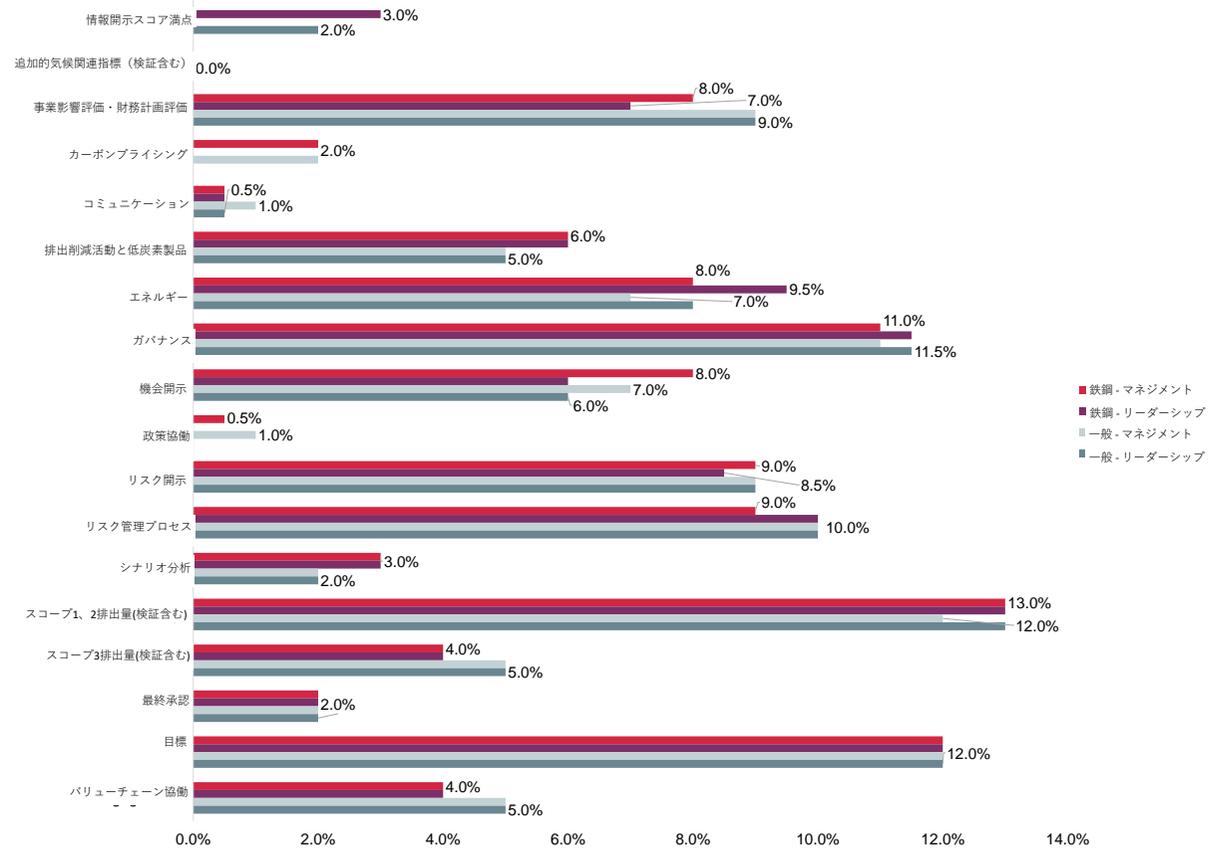
スコアリングカテゴリとウェイト: 概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

鉄鋼:重要なスコアリングカテゴリ

鉄鋼生産はエネルギー多消費の高排出量なプロセスです。鉄鉱石から鉄鋼への変換には、大量の熱とコークス用炭（排出量が多い）が必要です。従って、エネルギー消費量とその内訳の開示、スコープ1,2排出量算定、排出実績、第三者検証の項目が特にこのセクターの企業には重要です。原料への注意、製造プロセス全体でのさまざまな技術の導入、工場での技術の導入、および排出量の少ない燃料への転換といった排出削減活動や低カーボン製品の導入が鉄鋼セクターでの低排出生産に繋がります。このセクターの企業は気候変動と低炭素移行計画を事業戦略で考慮する必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 鉄鋼セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、鉄鋼セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

鉄鋼スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点 採点対象外	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X
		C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X
		C-ST0.7	X	X	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C-ST7.4	✓	X	X	X
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.5	✓	✓	X	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X
		C1.2a	✓	✓	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-ST7.7	✓	X	X	X
		C2.1	✓	✓	X	X			C7.9	✓	✓	X	X
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.9a	✓	✓	✓	✓
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1b	✓	X	✓	X			C7.9b	✓	✓	X	X
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X
		C2.2a	✓	X	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X
		C2.2g	✓	✓	✓	✓			C8.2a	✓	✓	✓	✓
		C2.3	✓	X	X	X	C-ST8.2a	✓	✓	X	X		
	リスク開示	C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X	X		
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	X	✓	X		
		C2.4	✓	X	X	X	C8.2d	✓	✓	✓	✓		
	機会開示	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C-ST8.2d	✓	✓	X	X		
		C2.4b	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓	✓	✓	X		
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X	C-ST8.3	✓	✓	X	X		
		C3.1a	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X	
	C3.1b	✓	✓	✓	✓	C-ST9.3a		✓	✓	X	X		
	C3.1c	✓	✓	✓	✓	C-ST9.3b		✓	✓	X	X		
	事業戦略 & 財務計画	C3.1d	✓	✓	✓	✓		排出削減活動と低カーボン製品	C-ST9.6	✓	✓	X	X
		C3.1e	✓	X	✓	✓	C-ST9.6a	✓	✓	X	X		
		C3.1f	X	X	X	X	C10.1	✓	✓	✓	✓		
C3.1g	✓	X	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1a	✓	X	✓	✓		
C4.1	✓	✓	✓	✓		C10.1b	✓	X	✓	✓			
C4.1a	✓	✓	✓	✓		スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	X		
目標と実績	目標	C4.1b	✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X	
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C10.2a	✓	✓	X	X		
		C4.2	✓	X	X	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X
		C4.2a	✓	✓	✓	X			C11.1a	✓	X	X	X
		C4.2b	✓	✓	X	X			C11.1b	✓	✓	X	X
	C4.3	✓	✓	✓	✓	C11.1c			✓	✓	X	X	
	C4.3a	✓	✓	✓	✓	C11.1d			✓	✓	✓	X	
	C4.3b	✓	✓	✓	X	C11.2			✓	X	X	X	
	C4.3c	✓	X	X	X	C11.2a			✓	X	✓	X	
	C4.3d	✓	X	✓	✓	C11.3			✓	✓	✓	X	
C4.5	✓	X	X	X	C11.3a	✓			✓	✓	X		
C4.5a	✓	X	X	X	C12.1	✓			✓	✓	✓		
C-ST4.9	✓	✓	X	X	C12.1a	✓	✓	✓	✓				
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	バリューチェーン協働	C12.1b	✓	✓	✓	✓	
		C5.2	✓	X	X	X	C12.1d	✓	X	✓	X		
		C5.2a	X	X	X	X	C12.1e	✓	✓	✓	✓		
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X
		C6.2	✓	✓	X	X			C12.3a	✓	✓	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X			C12.3b	✓	X	X	X
		C6.4	✓	X	X	X			C12.3c	✓	✓	X	X
		C6.4a	✓	✓	✓	X			C12.3d	✓	✓	X	X
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓			C12.3e	✓	X	X	X
		C6.7	✓	X	X	X			C12.3f	✓	X	✓	X
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X			C12.3g	✓	✓	X	X
		C6.10	✓	✓	✓	X			コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓
		C-ST6.14	✓	✓	X	X		最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 石炭セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020石炭セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

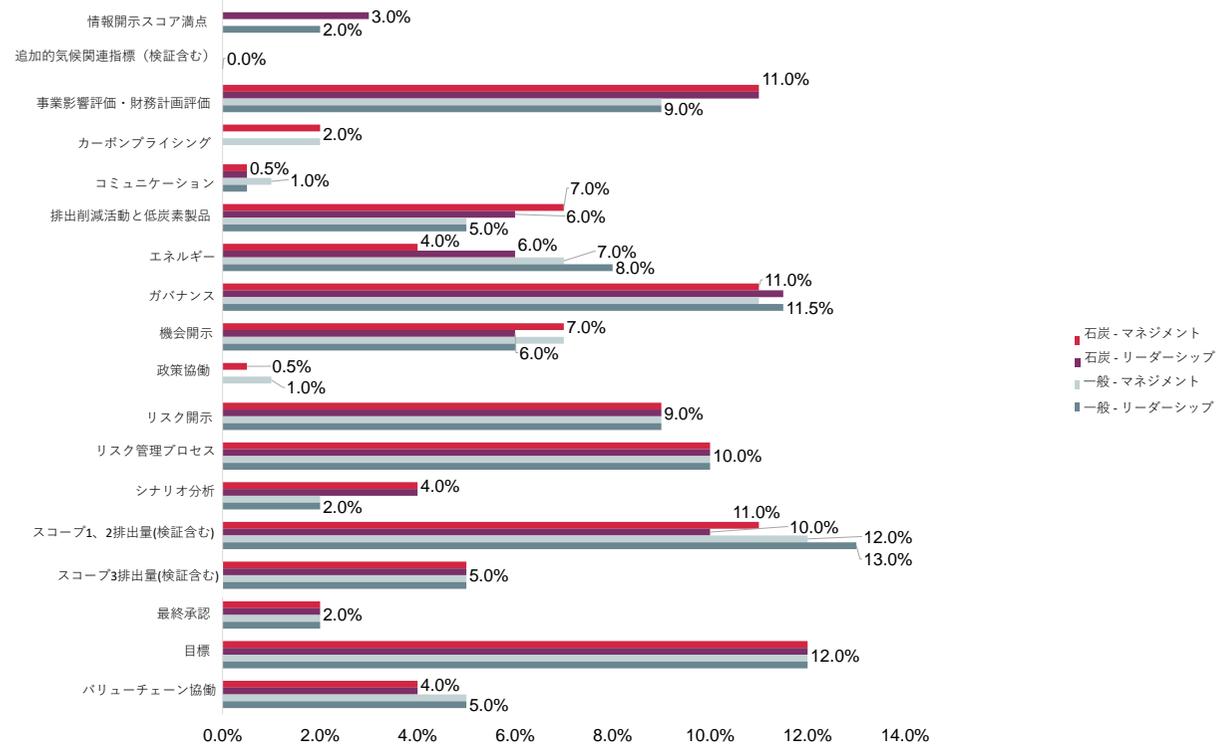
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

石炭:重要なスコアリングカテゴリ

石炭セクターはエネルギー多消費の高排出量セクターです。地球規模での石炭燃焼が大気中の人為的温室効果ガス増加の最大の割合を占め、発電の多くを占めていることから、他の排出削減活動および低炭素製品とともに排出削減目標が特に重要となります。石炭セクターは、天然ガスや再生可能エネルギーとの競争など、下流での使用における規制や市場の圧力の高まりに直面しています。そのため、このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮し、財務計画評価に含む必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 石炭セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、石炭セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

石炭スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ			
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7	✓	X	X	X			
		C0.2	X	X	X	X			C6.7a	✓	✓	X	X			
		C0.3	X	X	X	X			C6.10	✓	✓	✓	✓			
		C0.4	X	X	X	X			C7.1	✓	✓	✓	X			
		C0.5	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	✓	X			
ガバナンス	イントロダクション	C-C00.7	X	X	X	X	C-C07.1b	✓	✓	✓	X	X				
		C1.1	✓	✓	X	X	C7.2	✓	✓	✓	X					
		C1.1a	✓	✓	✓	✓	C7.3	✓	X	X	X					
		C1.1b	✓	✓	✓	X	C7.3a	✓	✓	✓	X					
		C1.1c	✓	✓	✓	✓	C7.3b	✓	✓	✓	X					
		C1.2	✓	✓	✓	✓	C7.3c	✓	✓	✓	X					
		C1.2a	✓	✓	✓	X	C-C07.4	✓	X	X	X					
		C1.3	✓	✓	✓	X	C7.5	✓	✓	✓	X					
		C1.3a	✓	✓	✓	✓	C7.6	✓	X	X	X					
		C2.1	✓	✓	X	X	C7.6a	✓	✓	✓	X					
		C2.1a	✓	✓	✓	✓	C7.6b	✓	✓	✓	X					
		C2.1b	✓	✓	✓	✓	C7.6c	✓	✓	✓	X					
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.2	✓	✓	✓	X	C-C07.7	✓	X	X	X			
C2.2a	✓			✓	✓	✓	C7.9	✓	✓	✓	X					
C2.2g	✓			✓	✓	✓	C7.9a	✓	✓	✓	✓					
C2.3	✓			✓	✓	✓	C7.9b	✓	✓	✓	X					
C2.3a	✓			X	X	X	C8.1	✓	X	X	X					
機会開示	C2.4		✓	✓	✓	✓	C8.2	✓	X	X	X					
	C2.4a		✓	X	X	X	C8.2b	✓	X	X	X					
	C2.4b		✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓	✓	✓	X					
	C8.2d		✓	✓	✓	X	X									
	C8.2e		✓	✓	✓	✓	X									
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X			
		C3.1a	✓	✓	X	X			C-C09.2a	✓	✓	✓	X			
		C3.1b	✓	✓	✓	✓			C-C09.2b	✓	✓	✓	X			
	シナリオ分析	C3.1c	✓	✓	✓	✓			C-C09.3a	✓	✓	✓	X			
		C3.1d	✓	✓	✓	✓			C-C09.3b	✓	✓	✓	X			
		C3.1e	✓	X	X	X			C-C09.4a	✓	X	X	X			
	事業戦略 & 財務計画	C3.1f	X	X	X	X			C-C09.6	✓	✓	✓	X			
		C3.1g	✓	X	X	✓			C-C09.6a	✓	✓	✓	X			
		C4.1	✓	✓	✓	✓			X							
目標と実績	目標	C4.1a	✓	✓	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓			
		C4.1b	✓	✓	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓			
		C4.1c	✓	✓	✓	✓			C10.1b	✓	X	✓	✓			
		C4.2	✓	X	X	X			C10.1c	✓	X	✓	X			
		C4.2a	✓	✓	✓	X			X	追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X
		C4.2b	✓	✓	X	X			C10.2a			✓	✓	✓	X	
		C-CO4.2c	✓	X	✓	✓			X			C11.1	✓	X	X	X
	C4.3	✓	✓	✓	X	C11.1a	✓	X	X			X				
	C4.3a	✓	✓	✓	✓	C11.1b	✓	✓	✓			X				
	C4.3b	✓	✓	✓	X	C11.1c	✓	✓	✓			X				
	排出削減活動と低カーボン製品	C4.3c	✓	X	X	X	C11.1d	✓	✓	✓	X					
		C4.3d	✓	X	✓	✓	C11.2	✓	X	X	X					
		C4.5	✓	X	X	X	C11.2a	✓	X	✓	X					
C4.5a		✓	X	X	X	C11.3	✓	✓	✓	X						
C-CO4.6		✓	X	✓	X	C11.3a	✓	✓	✓	X						
C-CO4.7a		✓	X	✓	X	C12.1	✓	✓	✓	X						
目標と実績	目標	C-CO4.7b	✓	X	✓	X	C12.1a	✓	✓	✓	✓					
		C-CO4.8	✓	X	✓	X	C12.1b	✓	✓	✓	✓					
		C4.3c	✓	X	✓	X	C12.1d	✓	X	✓	X					
		C4.3d	✓	X	✓	✓	C12.1e	✓	✓	✓	✓					
	排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X		
			C5.2	✓	X	X	X			C12.3a	✓	✓	✓	X		
			C5.2a	X	X	X	X			C12.3b	✓	X	X	X		
			C6.1	✓	X	X	X			C12.3c	✓	✓	✓	X		
スコープ1,2排出量 (検証含む)		C6.2	✓	✓	X	X	C12.3d			✓	✓	✓	X			
		C6.3	✓	✓	X	X	C12.3e			✓	X	X	X			
		C6.4	✓	X	X	X	C12.3f			✓	X	✓	X			
		C6.4a	✓	✓	✓	X	C12.3g			✓	✓	✓	X			
排出量データ	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓	C12.4	✓	X	✓	✓					
		C6.6	✓	✓	✓	✓	C14.1	✓	X	✓	✓					
		C6.7	✓	✓	✓	✓										
		C6.8	✓	✓	✓	✓										
エンゲージメント	最終承認	C6.9	✓	✓	✓	✓										
		C6.10	✓	✓	✓	✓										
		C6.11	✓	✓	✓	✓										
		C6.12	✓	✓	✓	✓										
		C6.13	✓	✓	✓	✓										
		C6.14	✓	✓	✓	✓										
		C6.15	✓	✓	✓	✓										
		C6.16	✓	✓	✓	✓										
		C6.17	✓	✓	✓	✓										
		C6.18	✓	✓	✓	✓										
		C6.19	✓	✓	✓	✓										
		C6.20	✓	✓	✓	✓										
		C6.21	✓	✓	✓	✓										

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 電気事業セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020電気事業セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

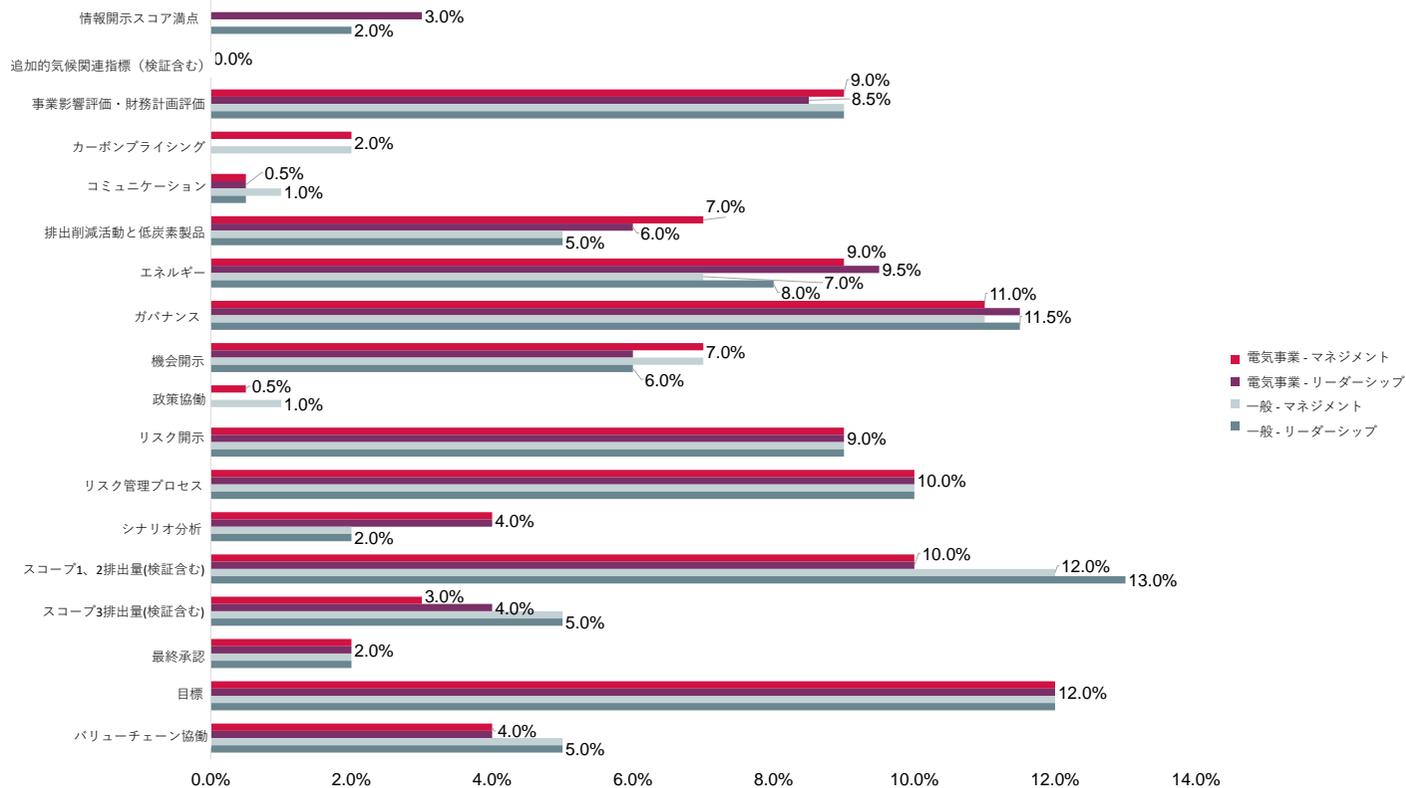
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

電気事業:重要なスコアリングカテゴリ

電気事業セクターはエネルギー多消費の高排出量セクターです。他の排出削減活動および低炭素製品とともに排出削減目標が特に重要となります。発電はCO2の最大排出源であり、世界全体の排出量の25%を占めていることから、気候変動は、電気事業セクターにとって戦略的問題です。また再生可能エネルギー源の商業化の進展と分散型発電の出現により、電気事業セクターは低炭素エネルギー源への移行を実現する重要な可能性を秘めています。そのため、このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮し、財務計画評価に含む必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 電気事業セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、電気事業セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

電気事業スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X		
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C-EU7.1b	✓	✓	X	X		
		C0.4	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X		
		C0.5	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X		
イントロダクション	C-EU0.7	X	X	X	X	C7.3a			✓	✓	X	X			
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.3c	✓	✓	X	X		
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C-EU7.4	✓	X	X	X		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X		
		C1.2a	✓	✓	✓	X			C7.6a	✓	✓	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.6c	✓	✓	X	X		
		C2.1	✓	✓	X	X			C7.9	✓	✓	X	X		
		C2.1a	✓	✓	✓	✓			エネルギー	エネルギー	C7.9a	✓	✓	✓	✓
C2.1b	✓	✓	✓	✓	C7.9b	✓					✓	X	X		
C2.2	✓	✓	✓	X	C8.1	✓					X	X	X		
C2.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2	✓					X	X	X		
C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓	✓			✓				
C2.3	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓	X	X			X				
C2.3a	✓	X	X	X	C8.2c	✓	✓	✓			X				
C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓	✓	X			X				
C2.4	✓	✓	✓	✓	C-EU8.2d	✓	✓	✓			✓				
C2.4a	✓	X	X	X	C8.2e	✓	✓	✓			X				
C2.4b	✓	✓	✓	✓	C-EU8.4	✓	X	X	X						
リスクと機会	リスク管理プロセス	C3.1	✓	✓	X	X	C-EU8.4a	✓	✓	X	X				
		C3.1a	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X			
		C3.1b	✓	✓	✓	✓		C-EU9.5a	✓	✓	X	X			
		C3.1c	✓	✓	✓	✓		C-EU9.5b	✓	✓	X	X			
	C3.1d	✓	✓	✓	✓	C-EU9.6		✓	✓	X	X				
	C3.1e	✓	X	✓	✓	C-EU9.6a		✓	✓	X	X				
	リスク開示	C2.3a	✓	X	X	X	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓		
機会開示	C2.4a	✓	X	X	X	C10.1a			✓	X	✓	✓			
C2.4b	✓	✓	✓	✓	C10.1b	✓			X	✓	✓				
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X			スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	X	
		C3.1a	✓	✓	X	X				追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X
		C3.1b	✓	✓	✓	✓					C10.2a	✓	✓	X	X
	C3.1c	✓	✓	✓	✓	カーボンライジング			カーボンライジング		C11.1	✓	X	X	X
	C3.1d	✓	✓	✓	✓						C11.1a	✓	X	X	X
	C3.1e	✓	X	✓	✓					C11.1b	✓	✓	X	X	
C3.1f	X	X	X	X	C11.1c					✓	✓	X	X		
C3.1g	✓	X	✓	✓	C11.1d		✓	✓		✓	X				
C4.1	✓	✓	✓	X	C11.2		✓	X		X	X				
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓		✓	C11.2a		✓	X	✓	X		
		C4.1a	✓	✓	✓		✓	C11.3		✓	✓	✓	X		
		C4.1b	✓	✓	✓		✓	C11.3a		✓	✓	✓	X		
		C4.1c	✓	✓	✓		✓	パブリックチェーン協働		パブリックチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	✓
		C4.2	✓	X	X	X	C12.1a		✓		✓	✓	✓		
	C4.2a	✓	✓	✓	X	C12.1b	✓		✓		✓	✓			
	C4.2b	✓	✓	X	X	C12.1d	✓		X		✓	X			
	C4.3	✓	✓	✓	X	C12.1e	✓		✓		✓	✓			
	排出削減活動と低炭素製品	排出削減活動と低炭素製品	C4.3a	✓	✓	✓	✓	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓	X	X	
			C4.3b	✓	✓	✓	X			C12.3a	✓	✓	X	X	
C4.3c			✓	X	X	X	C12.3b			✓	X	X	X		
C4.3d			✓	X	✓	✓	C12.3c			✓	✓	X	X		
C4.5			✓	X	X	X	C12.3d			✓	✓	X	X		
C-EU4.6	✓	X	✓	✓	X	C12.3e	✓			X	X	X			
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	C12.3f			✓	X	✓	X		
		C5.2	✓	X	X	X	C12.3g			✓	✓	X	X		
		C5.2a	X	X	X	X	コミュニケーション			C12.4	✓	X	✓	✓	
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	最終承認			最終承認	C14.1	✓	X	✓	✓
		C6.2	✓	✓	X	X									
		C6.3	✓	✓	X	X									
		C6.4	✓	X	X	X									
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓									
		C6.7	✓	X	X	X									
		C6.7a	✓	✓	X	X									
スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.10	✓	✓	✓	X										

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020：石油・ガスセクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020石油・ガスセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

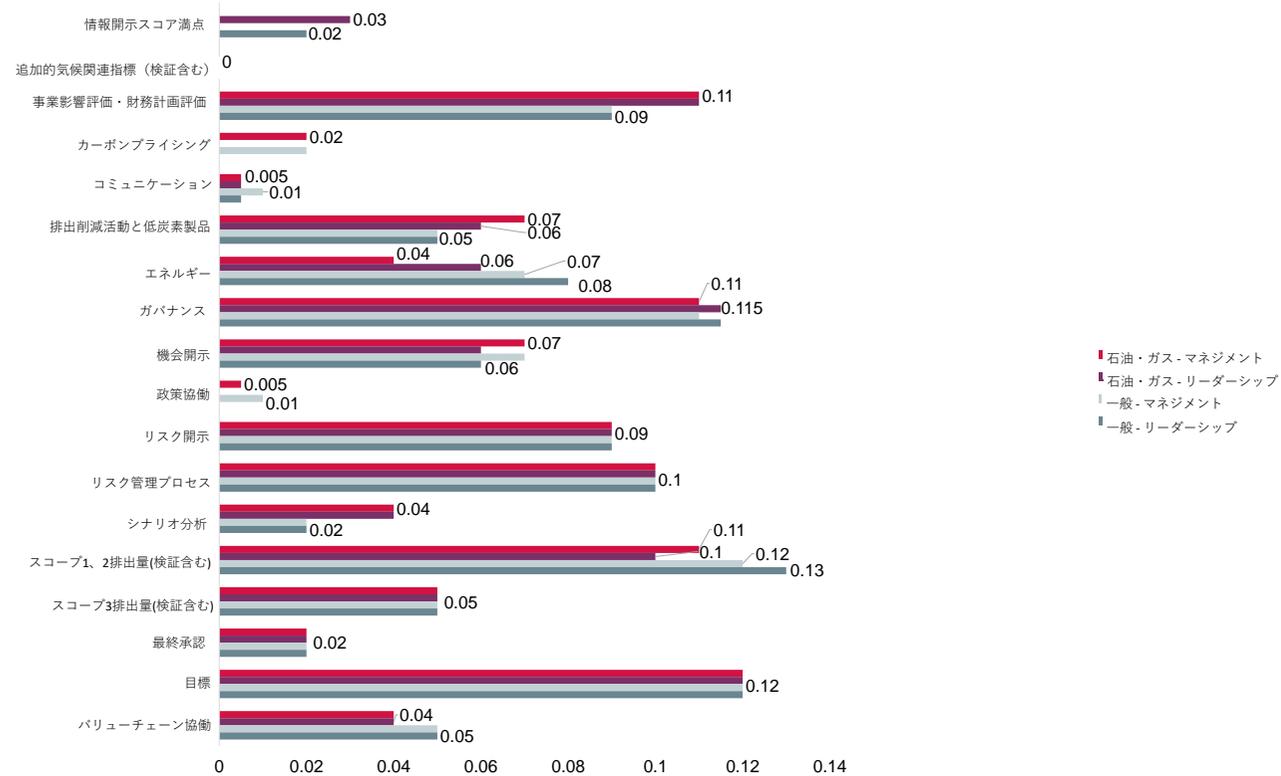
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

石油・ガス：重要なスコアリングカテゴリ

石油・ガスセクターはエネルギー多消費の高排出量セクターです。他の排出削減活動および低炭素製品とともに排出削減目標が特に重要となります。石油・ガスセクターの運用および使用段階の排出量は全体として世界のCO2排出量の半分を占めており、気候変動はこのセクターにとって戦略的なリスクと言えます。そのため、このセクターの企業は気候変動を事業戦略で考慮し、財務計画評価に含む必要があります。また、環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、“情報開示スコア満点”のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 石油・ガスセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、石油・ガスセクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

石油・ガススコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ			
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X			
	探点対象外	C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X			
		C0.3	X	X	X	X			C-OG7.1b	✓	✓	X	X			
		C0.4	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X			
		C0.5	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X			
イントロダクション	C-OG0.7	X	X	X	X	C7.3a			✓	✓	X	X				
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X			
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.3c	✓	✓	X	X			
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C-OG7.4	✓	X	X	X			
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.5	✓	✓	X	X			
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X			
		C1.2a	✓	✓	✓	X			C7.6a	✓	✓	X	X			
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X			
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.6c	✓	✓	X	X			
		C2.1	✓	✓	X	X			C-OG7.7	✓	X	X	X			
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1a	✓	✓	✓	✓			C7.9	✓	✓	X	X			
		C2.1b	✓	✓	✓	✓			C7.9a	✓	✓	✓	✓			
		C2.2	✓	✓	✓	X			C7.9b	✓	✓	X	X			
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	X	X	X	
		C2.2g	✓	✓	✓	✓					C8.2	✓	X	X	X	
	C2.3	✓	✓	✓	✓	C8.2a					✓	✓	✓	✓		
	C2.3a	✓	X	X	X	C8.2b					✓	X	X	X		
	C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2c					✓	✓	✓	X		
	リスク開示	C2.4	✓	✓	✓	✓					C8.2d	✓	✓	X	X	
C2.4a		✓	X	X	X	C8.2e					✓	✓	✓	✓		
C2.4b		✓	✓	✓	✓	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1			X	X	X	X		
機会開示		C3.1	✓	✓	X			X			C-OG9.2a	✓	✓	X	X	
	C3.1a	✓	✓	X	X			C-OG9.2b	✓	✓	X	X				
	C3.1b	✓	✓	✓	✓			C-OG2c	✓	X	X	X				
	C3.1c	✓	✓	✓	✓			C-OG9.2d	✓	X	X	X				
事業戦略 & 財務計画	C3.1d	✓	✓	✓	✓			C-OG9.2e	✓	✓	X	X				
	C3.1e	✓	X	X	X			C-OG9.3a	✓	✓	X	X				
	C3.1f	X	X	X	X			C-OG9.3b	✓	✓	X	X				
目標と実績	目標	C3.1g	✓	X	✓			✓	C-OG9.3c	✓	✓	X	X			
		C4.1	✓	✓	✓			X	C-OG9.3d	✓	✓	X	X			
		C4.1a	✓	✓	✓			✓	C-OG9.3e	✓	✓	X	X			
		C4.1b	✓	✓	✓			✓	排出削減活動と低カーボン製品	C-OG9.6	✓	✓	X	X		
		C4.1c	✓	✓	✓			✓		C-OG9.6a	✓	✓	X	X		
		C4.2	✓	X	X			X		C-OG9.7	✓	X	X	X		
	C4.2a	✓	✓	✓	X			追加的気候関連指標 (検証含む)	C-OG9.8	✓	X	X	X			
	C4.2b	✓	✓	X	X	C-OG9.8a	✓		✓	X	X					
	C-OG4.2c	✓	X	✓	X	C-OG9.8b	✓		✓	X	X					
	目標と実績	目標	C4.3	✓	✓	✓	X	C-OG9.8c	✓	X	X	X				
			C4.3a	✓	✓	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓		
			C4.3b	✓	✓	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓		
		C4.3c	✓	X	X	X	C10.1b			✓	X	✓	✓			
		C4.3d	✓	X	✓	✓	スコープ3排出量 (検証含む)			C10.1c	✓	X	✓	X		
		排出削減活動と低カーボン製品	C4.5	✓	X	X		X	C10.2	✓	✓	X	X			
C4.5a			✓	X	X	X	C10.2a	✓	✓	X	X					
C-OG4.6			✓	X	✓	X	カーボンライジング	カーボンライジング	C11.1	✓	X	X	X			
C-OG4.7			✓	✓	✓	X			C11.1a	✓	X	X	X			
C-OG4.7a	✓		X	✓	X	C11.1b			✓	✓	X	X				
C-OG4.7b	✓		X	✓	X	C11.1c			✓	✓	X	X				
C-OG4.8	✓	X	✓	X	C11.1d	✓			✓	✓	X					
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X			C11.2	✓	X	X	X			
		C5.2	✓	X	X	X			C11.2a	✓	X	✓	X			
		C5.2a	X	X	X	X			C11.3	✓	✓	✓	X			
		C6.1	✓	X	X	X			C11.3a	✓	✓	✓	X			
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.2	✓	✓	X	X			バリューチェーン協働	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	✓	
		C6.3	✓	✓	X	X					C12.1a	✓	✓	✓	✓	
		C6.4	✓	X	X	X					C12.1b	✓	✓	✓	✓	
		C6.4a	✓	✓	✓	✓	C12.1d	✓			X	✓	X			
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓	エンゲージメント	エンゲージメント			政策協働	C12.1e	✓	✓	✓	✓
		C6.7	✓	X	X	X						C12.3	✓	✓	X	X
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X						C12.3a	✓	✓	X	X
		C6.10	✓	✓	✓	X						C12.3b	✓	X	X	X
		C-OG6.12	✓	✓	✓	X	C12.3c	✓	✓	X	X					
		C-OG6.13	✓	✓	X	X										

石油・ガススコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
エンゲージメント	政策協働	C12.3d	✓	✓	X	X
		C12.3e	✓	X	X	X
		C12.3f	✓	X	✓	X
		C12.3g	✓	✓	X	X
	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓
最終承認	最終承認	C14.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 輸送サービスセクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020輸送サービスセクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

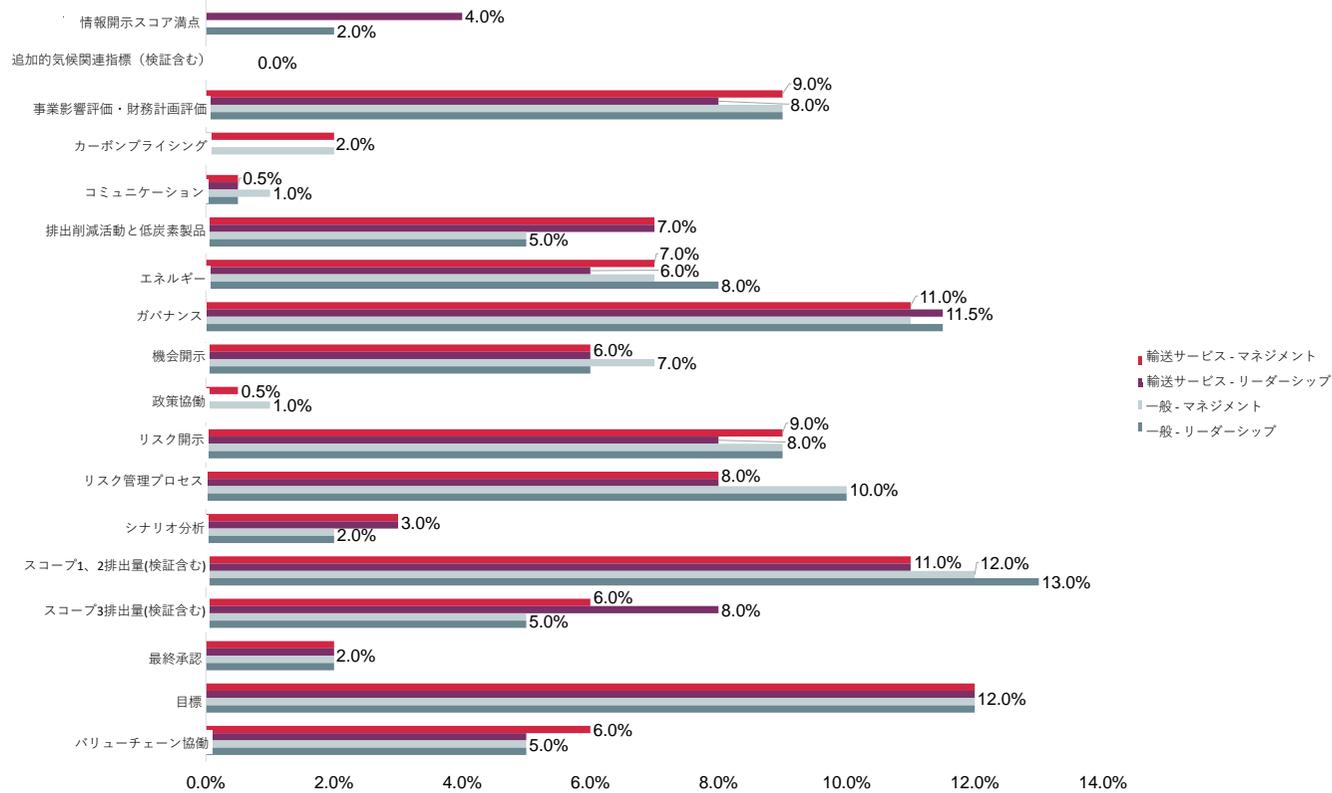
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

輸送サービス:重要なスコアリングカテゴリ

輸送セクターは、排出量が多くエネルギー多消費セクターです。CDPの輸送サービスセクター質問は、次の5種類の輸送技術による人やモノの輸送に関連する企業を対象としています。これは、航空機、普通乗用車（LDV）、大型車（HDV）、船舶、鉄道です。輸送セクターは、世界のエネルギー関連排出量のほぼ4分の1を占め、過去35年間でエネルギー使用量を2倍にしており、スコップ1、2および3（カテゴリ4：上流の輸送、配送）排出量の活動量に基づいた算定が輸送サービスセクターの企業にとって特に重要となります。このセクターの企業は、輸送機器の低炭素技術を導入することによる排出削減活動やバリューチェーン協働を通して、事業戦略に気候変動と低炭素移行計画を統合する必要があります。環境ステewardシップの進展している企業は、事業戦略にシナリオ分析を活用するでしょう。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、“情報開示スコア満点”のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 輸送サービスセクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、輸送サービスセクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

輸送サービススコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ			
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X			
		C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X			
	採点対象外	C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X			
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X			
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X			
ガバナンス	ガバナンス	C-TS0.7	X	X	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X			
		C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X			
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C-TS7.4	✓	X	X	X			
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.5	✓	✓	X	X			
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X			
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X			
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X			
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X			
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-TS7.7	✓	X	X	X			
		リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓			X	X	C7.9	✓	✓	X	X	
C2.1a	✓			✓	X	X			C7.9a	✓	✓	✓	✓			
C2.1b	✓			X	✓	X			C7.9b	✓	✓	X	X			
C2.2	✓			✓	✓	✓			エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X	
C2.2a	✓			✓	✓	✓					C8.2	✓	X	X	X	
C2.2g	✓		✓	✓	✓	C8.2a	✓	✓			✓	✓				
C2.3	✓		X	X	X	C8.2b	✓	X			X	X				
リスク開示	C2.3a		✓	✓	✓	✓	C8.2c	✓			X	✓	X			
	C2.3b		✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓			✓	✓	✓			
	C2.4		✓	X	X	X	C8.2e	✓			✓	✓	X			
機会開示	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C-TS8.2f	✓	✓			X	X				
	C2.4b	✓	✓	✓	✓	C-TS8.5	✓	✓			X	X				
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X	追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)			C9.1	X	X	X	X	
		C3.1a	✓	✓	X	X			C-TS9.3	✓	✓	X	X			
	シナリオ分析	C3.1b	✓	✓	✓	✓			排出削減活動と低カーボン製品	排出削減活動と低カーボン製品	C-TS9.6	✓	✓	X	X	
		C3.1c	✓	✓	✓	✓	C-TS9.6a	✓			✓	X	X			
		事業戦略 & 財務計画	C3.1d	✓	✓	✓	✓	検証	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓	
	C3.1e		✓	X	✓	✓	C10.1a				✓	X	✓	✓		
	C3.1f	X	X	X	X	C10.1b	✓				X	✓	✓			
目標と実績	目標	C3.1g	✓	X	✓	✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X			
		C4.1	✓	✓	✓	✓			C10.2a	✓	✓	X	X			
		C4.1a	✓	✓	✓	✓			C11.1	✓	X	X	X			
		C4.1b	✓	✓	✓	✓	C11.1a	✓	X	X	X					
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C11.1b	✓	✓	X	X					
		C4.2	✓	X	X	X	C11.1c	✓	✓	X	X					
	排出削減活動と低カーボン製品	排出削減活動と低カーボン製品	C4.2a	✓	✓	✓	X	カーボンライティング	カーボンライティング	C11.1d	✓	✓	✓	X		
			C4.2b	✓	✓	X	X			C11.2	✓	X	X	X		
			C4.3	✓	✓	✓	X			C11.2a	✓	X	✓	X		
			C4.3a	✓	✓	✓	✓			C11.3	✓	✓	✓	X		
			C4.3b	✓	✓	✓	X			C11.3a	✓	✓	✓	X		
			C4.3c	✓	X	X	X			バリューチェーン協働	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
			C4.3d	✓	X	✓	✓					C12.1a	✓	✓	✓	✓
C4.5a	✓	X	X	X	C12.1b	✓	✓					✓	✓			
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	C12.1d					✓	X	✓	X	
		C5.2	✓	X	X	X	C12.1e					✓	✓	✓	✓	
		C5.2a	X	X	X	X	C12.3					✓	✓	X	X	
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	エンゲージメント			エンゲージメント	政策協働	C12.3a	✓	✓	X	X
		C6.2	✓	✓	X	X						C12.3b	✓	X	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X		C12.3c	✓			✓	X	X		
		C6.4	✓	X	X	X		C12.3d	✓			✓	X	X		
		C6.4a	✓	✓	✓	X		C12.3e	✓			X	X	X		
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓		C12.3f	✓		X	✓	X			
		スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7	✓	X	X		X	C12.3g		✓	✓	X	X		
			C6.7a	✓	✓	X		X	コミュニケーション		C12.4	✓	X	✓	✓	
	C6.10	✓	✓	✓	X	X		最終承認			最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓
	追加的気候関連指標 (検証含む)	C-TS6.15	✓	✓	X	X										

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 輸送機器製造セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020輸送機器製造セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

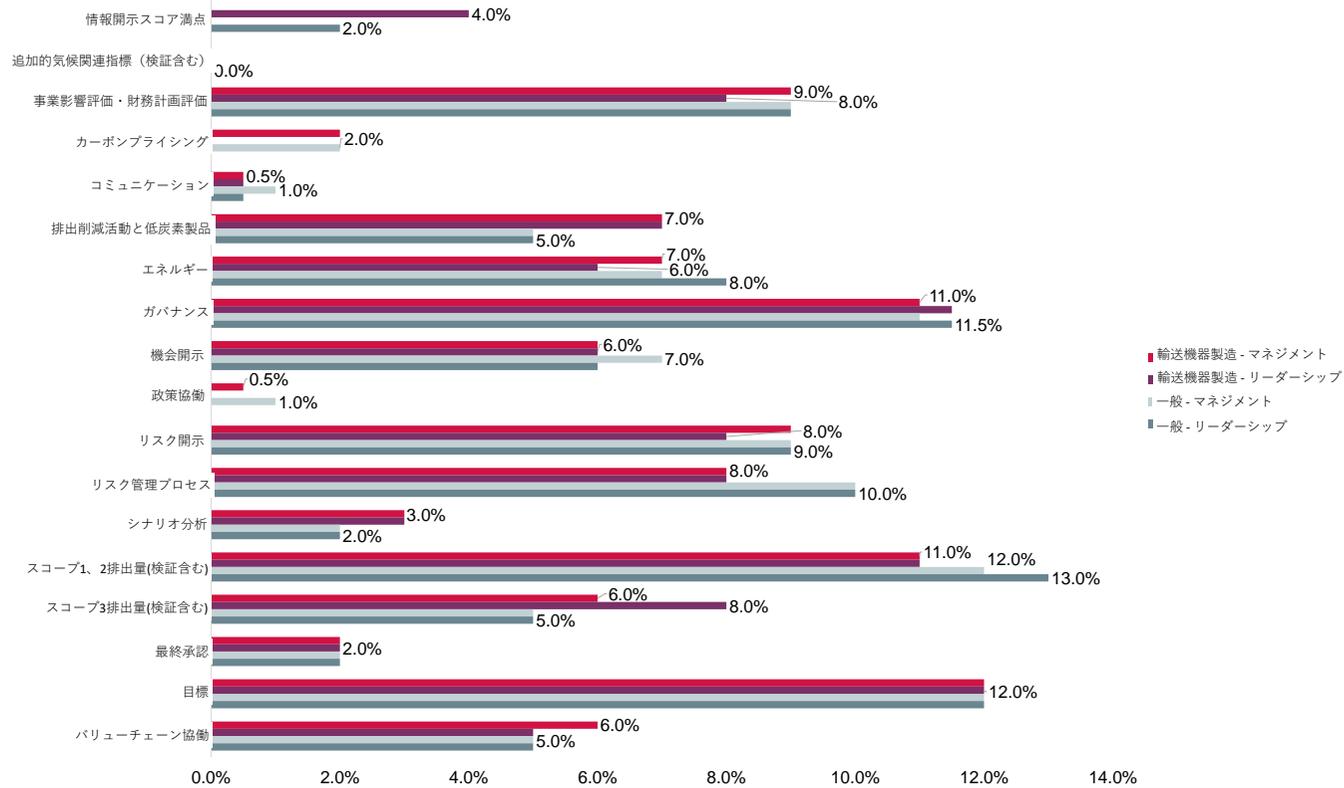
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

輸送機器製造:重要なスコアリングカテゴリ

輸送セクターは、排出量が多くエネルギー多消費セクターです。輸送機器製造セクターはCDPの輸送クラスターの一部です。気候変動プログラムでは、このクラスターには、CDPが対象としている次の5種類の輸送機器製造企業が含まれています。これは、航空機、普通乗用車（LDV）、大型車（HDV）、船舶、鉄道です。輸送セクターは、世界のエネルギー関連排出量のほぼ4分の1を占め、過去35年間でエネルギー使用量を2倍にしており、スコープ1、2および3（カテゴリ11：販売製品の使用）排出量の活動量に基づいた算定が特に重要となります。スコープ3の数値に使用されるデータの仮定と計算方法も、このセクターの企業にとって中心的なものとなるはずですが。輸送機器製造セクターの企業は、排出削減活動と低炭素輸送技術の生産およびそれへの投資を通して実行される事業戦略に気候変動と低炭素移行計画を統合する必要があります。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、「情報開示スコア満点」のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 輸送機器製造セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、輸送機器製造セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

輸送機器製造スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点 採点対象外	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X		
		C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X		
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X		
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X		
		C-T00.7	X	X	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3c	✓	✓	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C-T07.4	✓	X	X	X		
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.5	✓	✓	X	X		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X		
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C-T07.7	✓	X	X	X		
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X		スコープ3排出量 (検証含む)	C-T07.8	✓	✓	X	X		
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.9	✓	✓	X	X		
		C2.1b	✓	X	✓	X		スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.9a	✓	✓	✓	✓		
		C2.2	✓	✓	✓	✓			C7.9b	✓	✓	X	X		
		C2.2a	✓	✓	✓	✓			C8.1	✓	✓	X	X		
		C2.2g	✓	✓	✓	✓			C8.2	✓	X	X	X		
	リスク開示	C2.3	✓	X	X	X		C8.2a	✓	✓	✓	✓			
		C2.3a	✓	✓	✓	✓		C8.2b	✓	X	X	X			
		C2.3b	✓	✓	✓	✓		C8.2c	✓	X	✓	X			
		C2.4	✓	X	X	X		C8.2d	✓	✓	✓	✓			
機会開示	C2.4a	✓	✓	✓	✓	C8.2e		✓	✓	✓	X				
	C2.4b	✓	✓	✓	✓	C-T08.5		✓	✓	X	X				
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X		追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1	X	X	X	X		
		C3.1a	✓	✓	X	X			C-T09.3	✓	✓	X	X		
	シナリオ分析	C3.1b	✓	✓	✓	✓	排出削減活動と低カーボン製品		C-T09.6	✓	✓	X	X		
		C3.1c	✓	✓	✓	✓		C-T09.6a	✓	✓	X	X			
	事業戦略 & 財務計画	C3.1d	✓	✓	✓	✓	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓		
		C3.1e	✓	X	✓	✓			C10.1a	✓	X	✓	✓		
		C3.1f	X	X	X	X			C10.1b	✓	X	✓	✓		
		C3.1g	✓	X	✓	✓		スコープ3排出量 (検証含む)	C10.1c	✓	X	✓	X		
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X			追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X	
		C4.1a	✓	✓	✓	✓				C10.2a	✓	✓	X	X	
		C4.1b	✓	✓	✓	✓	C11.1	✓		X	X	X			
		C4.1c	✓	✓	✓	✓	C11.1a	✓		X	X	X			
		C4.2	✓	X	X	X	C11.1b	✓		✓	X	X			
		C4.2a	✓	✓	✓	X	C11.1c	✓		✓	X	X			
	排出削減活動と低カーボン製品	C4.2b	✓	✓	X	X	C11.1d	✓	✓	✓	X				
		C4.3	✓	✓	✓	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.2	✓	X	X	X		
		C4.3a	✓	✓	✓	✓			C11.2a	✓	X	✓	X		
		C4.3b	✓	✓	✓	X			C11.3	✓	✓	✓	X		
C4.3c	✓	X	X	X	C11.3a	✓			✓	✓	X				
C4.3d	✓	X	✓	✓	バリューチェーン協働	バリューチェーン協働			C12.1	✓	✓	✓	X		
C4.5	✓	X	X	X					C12.1a	✓	✓	✓	✓		
C4.5a	✓	X	X	X					C12.1b	✓	✓	✓	✓		
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X					X	X	C12.1d	✓	X	✓	X
		C5.2	✓	X					X	X	C12.1e	✓	✓	✓	✓
		C5.2a	X	X					X	X	エンゲージメント	政策協働	C12.3	✓	✓
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	C12.3a	✓	✓	X			X		
		C6.2	✓	✓	X	X	C12.3b	✓	X	X			X		
		C6.3	✓	✓	✓	X	X	C12.3c	✓	✓			X	X	
C6.4		✓	X	X	X	C12.3d	✓	✓	X	X					
C6.4a		✓	✓	✓	X	C12.3e	✓	X	X	X					
排出量データ	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X	✓	C12.3f	✓	X	✓			X		
		C6.7	✓	X	X	X	C12.3g	✓	✓	X			X		
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X	X	コミュニケーション	コミュニケーション	C12.4	✓			X	✓	✓
		C6.10	✓	✓	✓	X			最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020: 輸送機器エンジン部品製造セクター質問スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020輸送機器エンジン部品製造セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別 質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

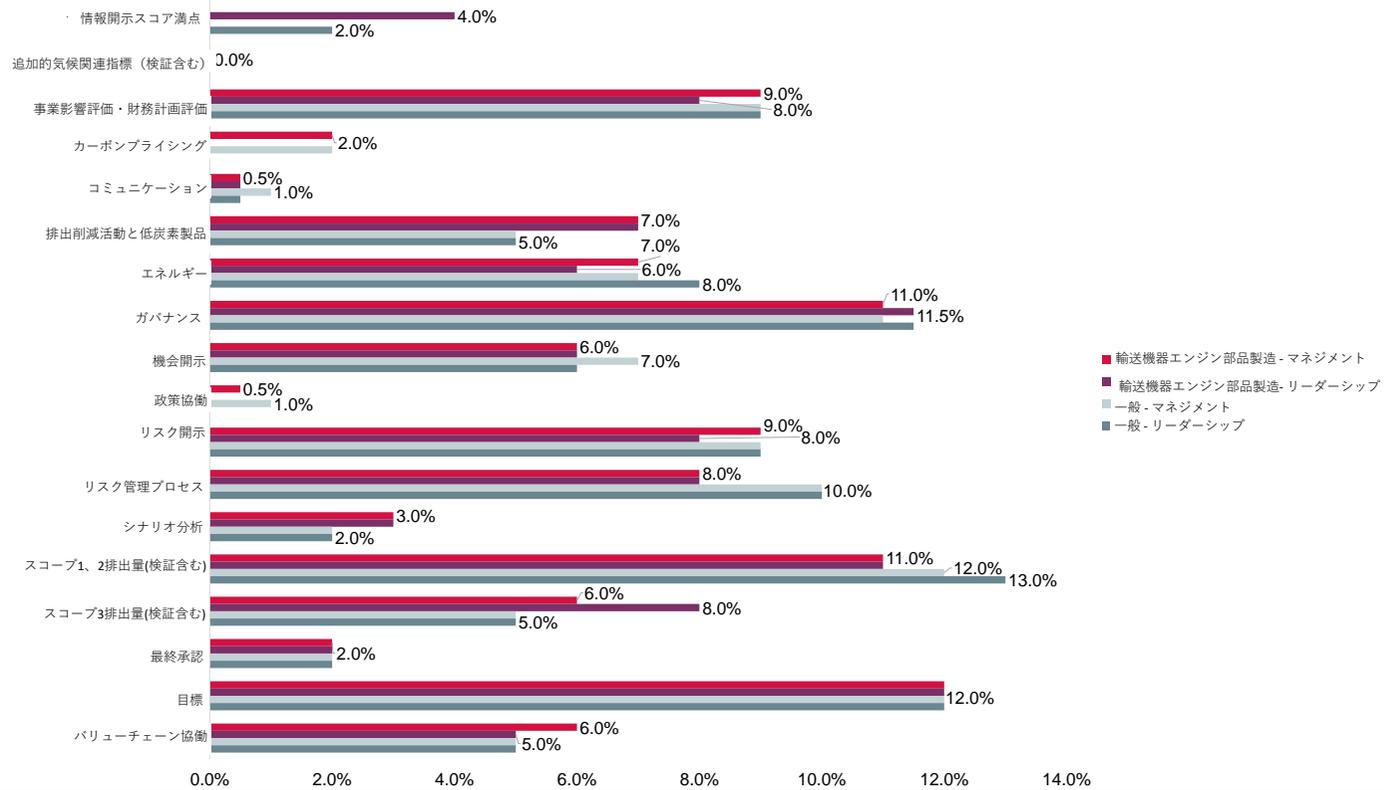
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

輸送機器エンジン部品製造:重要なスコアリングカテゴリ

輸送セクターは、排出量が多くエネルギー多消費セクターです。輸送機器エンジン部品製造セクターはCDPの輸送クラスターの一部です。気候変動プログラムでは、このクラスターには、CDPが対象としている次の5種類の輸送機器のエンジン部品を製造する企業が含まれています。これは、航空機、普通乗用車（LDV）、大型車（HDV）、船舶、鉄道です。輸送セクターは、世界のエネルギー関連排出量のほぼ4分の1を占め、過去35年間でエネルギー使用量を2倍にしており、スコープ1、2および3（カテゴリ11：販売製品の使用）排出量の活動量に基づいた算定が特に重要となります。スコープ3の数値に使用されるデータの仮定と計算方法も、このセクターの企業にとって中心的なものとなるはずですが、輸送機器エンジン部品製造セクターの企業は、排出削減活動と低炭素輸送技術の生産およびそれへの投資を通して実行される事業戦略に気候変動と低炭素移行計画を統合する必要があります。透明性の高いセクター特有の指標を報告することの重要性は、“情報開示スコア満点”のカテゴリのウェイトを大きくしていることで強調されています。

スコアリングカテゴリとウェイト: 輸送機器エンジン部品製造セクター質問 気候変動スコアリング基準



上記の棒グラフは、輸送機器エンジン部品製造セクター質問気候変動2020スコアリング基準における、マネジメントとリーダーシップレベルの各カテゴリに対するウェイトを示しています。

輸送機器エンジン部品製造スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ	モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ		
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓	排出量内訳	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C7.1	✓	✓	X	X		
		C0.2	X	X	X	X			C7.1a	✓	✓	X	X		
		C0.3	X	X	X	X			C7.2	✓	✓	X	X		
		C0.4	X	X	X	X			C7.3	✓	X	X	X		
		C0.5	X	X	X	X			C7.3a	✓	✓	X	X		
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X			C7.3b	✓	✓	X	X		
		C1.1a	✓	✓	✓	✓			C7.3c	✓	✓	X	X		
		C1.1b	✓	✓	✓	X			C7.5	✓	✓	X	X		
		C1.1c	✓	✓	✓	✓			C7.6	✓	X	X	X		
		C1.2	✓	✓	✓	✓			C7.6a	✓	✓	X	X		
		C1.2a	✓	X	✓	X			C7.6b	✓	✓	X	X		
		C1.3	✓	✓	✓	X			C7.6c	✓	✓	X	X		
		C1.3a	✓	✓	✓	✓			C7.9	✓	✓	X	X		
		C2.1	✓	✓	X	X			C7.9a	✓	✓	✓	✓		
		C2.1a	✓	✓	X	X			C7.9b	✓	✓	X	X		
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1b	✓	X	✓	X			エネルギー	エネルギー	C8.1	✓	✓	X	X
		C2.2	✓	✓	✓	✓					C8.2	✓	X	X	X
		C2.2a	✓	✓	✓	✓	C8.2a	✓			✓	✓	✓		
		C2.2g	✓	✓	✓	✓	C8.2b	✓			X	X	X		
	リスク開示	C2.3	✓	X	X	X	C8.2c	✓			X	✓	X		
		C2.3a	✓	✓	✓	✓	C8.2d	✓			✓	✓	✓		
		C2.3b	✓	✓	✓	✓	C8.2e	✓			✓	✓	X		
機会開示	C2.4	✓	X	X	X	追加的気候関連指標	追加的気候関連指標 (検証含む)	C9.1			X	X	X	X	
	C2.4a	✓	✓	✓	✓			排出削減活動と低カーボン製品			C-T09.6	✓	✓	X	X
	C2.4b	✓	✓	✓	✓			C-T09.6a			✓	✓	X	X	
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	X	X	検証	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C10.1	✓	✓	✓	✓		
		C3.1a	✓	✓	X	X			C10.1a	✓	X	✓	✓		
		C3.1b	✓	✓	✓	✓			C10.1b	✓	X	✓	✓		
	C3.1c	✓	✓	✓	✓	スコープ3排出量 (検証含む)			C10.1c	✓	X	✓	X		
	事業戦略 & 財務計画	C3.1d	✓	✓	✓		✓	追加的気候関連指標 (検証含む)	C10.2	✓	✓	X	X		
		C3.1e	✓	X	✓	✓	C10.2a	✓	✓	X	X				
		C3.1f	X	X	X	X	カーボンプライシング	カーボンプライシング	C11.1	✓	X	X	X		
C3.1g		✓	X	✓	✓	C11.1a			✓	X	X	X			
C4.1	✓	✓	✓	X	C11.1b	✓			✓	X	X				
C4.1a	✓	✓	✓	✓	C11.1c	✓			✓	X	X				
C4.1b	✓	✓	✓	✓	C11.1d	✓			✓	✓	X				
C4.1c	✓	✓	✓	✓	C11.2	✓			X	X	X				
C4.2	✓	X	X	X	C11.2a	✓			X	✓	X				
C4.2a	✓	✓	✓	X	C11.3	✓			✓	✓	X				
C4.2b	✓	✓	X	X	C11.3a	✓			✓	✓	X				
C4.3	✓	✓	✓	X	エンゲージメント	政策協働			C12.1	✓	✓	✓	✓		
目標と実績	目標	C4.3a	✓	✓			✓	✓	C12.1a	✓	✓	✓	✓		
		C4.3b	✓	✓			✓	X	C12.1b	✓	✓	✓	✓		
		C4.3c	✓	X			X	X	C12.1d	✓	X	✓	X		
	C4.3d	✓	X	✓			✓	C12.1e	✓	✓	✓	✓			
	C4.5	✓	X	X			X	C12.3	✓	✓	X	X			
	C4.5a	✓	X	X			X	C12.3a	✓	✓	X	X			
	C4.5b	✓	X	X	X	C12.3b	✓	X	X	X					
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.1	✓	X	X	X	C12.3c	✓	✓	X	X				
		C5.2	✓	X	X	X	C12.3d	✓	✓	X	X				
		C5.2a	X	X	X	X	C12.3e	✓	X	X	X				
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.1	✓	X	X	X	C12.3f	✓	X	✓	X				
		C6.2	✓	✓	X	X	C12.3g	✓	✓	X	X				
		C6.3	✓	✓	X	X	コミュニケーション	C12.4	✓	X	✓	✓			
		C6.4	✓	X	X	X		最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓		
	C6.4a	✓	✓	✓	X	凡例	当該レベルで評価される質問	✓	当該レベルで評価される質問						
	スコープ3排出量 (検証含む)	C6.5	✓	✓	X			✓	当該レベルで評価されない質問	X	当該レベルで評価されない質問				
		C6.7	✓	X	X			X		太字	セクター別質問				
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.7a	✓	✓	X			X							
		C6.8	✓	✓	✓			✓							
		C6.10	✓	✓	✓			X							

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問

気候変動質問書2020：簡易版セクター質問 スコアリング基準カテゴリとウェイト

本表は気候変動質問書2020簡易版セクター質問に回答する企業を対象としたスコアリングカテゴリとウェイトについて概説しています。異なるセクター別 質問書に回答する場合には、該当するセクター質問のページをご覧ください。ウェイトについては、事前にスコアリングイントロダクション2020の文書をお読みください。

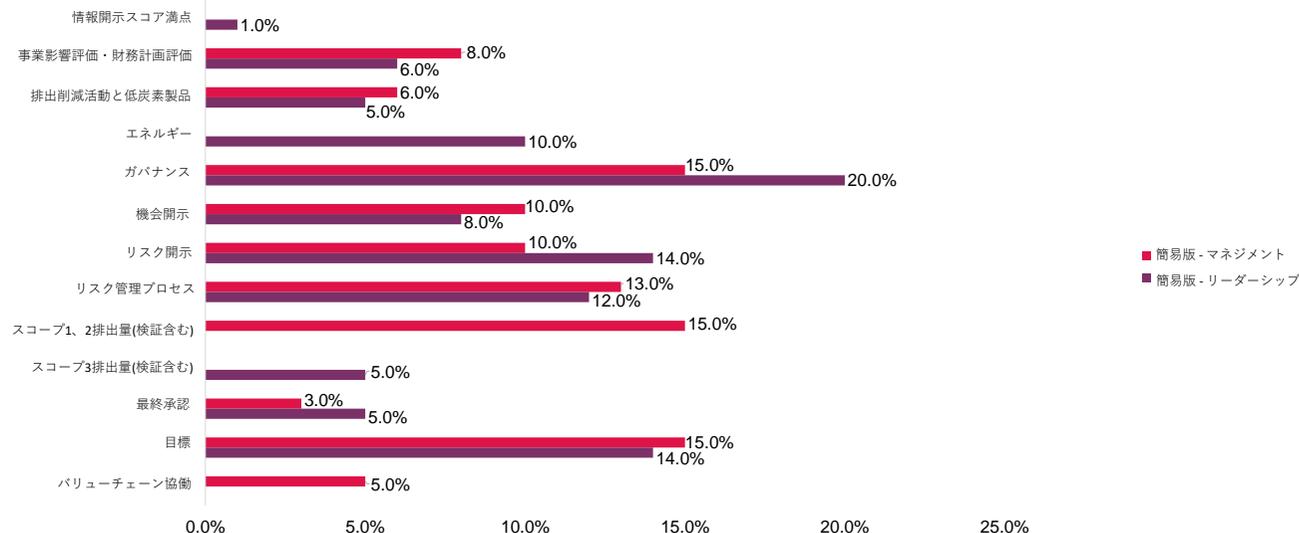
スコアリングカテゴリとウェイト：概要

スコアリングカテゴリは、各質問をテーマごとにグループ分けしたものです。2020質問書のモジュールにはサブグループを設けており、全てのセクターに共通したグループ分けとなっています。ウェイトはマネジメントとリーダーシップレベルのスコアリングカテゴリのみに適用されます。ウェイトは、CDP質問書と評価基準の範囲内で、環境ステewardシップに向けた企業の進捗における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。従って、各カテゴリのウェイトはセクターによって異なっており、各セクターにとって環境ステewardシップに重要な分野をハイライトできるようになっています。

簡易版 スコアリングカテゴリ

簡易版の13のスコアリングカテゴリは、情報開示スコア満点、ガバナンス、リスク管理プロセス、リスク開示、機会開示、事業戦略&財務計画、ターゲット、排出削減活動と低炭素製品、スコープ1および2排出量（検証を含む）、スコープ3排出量（検証を含む）、エネルギー、バリューチェーン協働、および最終承認です。

スコアリングカテゴリとウェイト：簡易版セクター質問 気候変動スコアリング基準



簡易版スコアリングカテゴリ：各モジュールと質問のマッピング

モジュール	スコアリングカテゴリ	質問番号	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
イントロダクション	情報開示スコア満点	C0.1	X	X	X	✓
	採点対象外	C0.2	X	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X
ガバナンス	ガバナンス	C1.1	✓	✓	X	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓
		C1.2	✓	✓	✓	✓
		C1.3	✓	✓	✓	X
リスクと機会	リスク管理プロセス	C2.1	✓	✓	X	X
		C2.2g	✓	✓	✓	✓
	リスク開示	C2.3	✓	X	X	X
		C2.3a	✓	✓	✓	✓
		C2.3b	✓	✓	✓	✓
	機会開示	C2.4	✓	X	X	X
		C2.4a	✓	✓	✓	✓
C2.4b	✓	✓	✓	✓		
事業戦略	事業戦略 & 財務計画	C3.1	✓	✓	✓	✓
		C3.1g	✓	X	✓	✓
目標と実績	目標	C4.1	✓	✓	✓	X
		C4.1a	✓	✓	✓	✓
		C4.1b	✓	✓	✓	X
		C4.1c	✓	✓	✓	✓
		C4.2	✓	X	X	X
		C4.2a	✓	✓	✓	X
	C4.2b	✓	✓	X	X	
	排出削減活動と低カーボン製品	C4.3	✓	✓	✓	X
		C4.3b	✓	✓	✓	X
		C4.3d	✓	✓	✓	✓
排出量算定基準	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C5.2	✓	X	X	X
C5.2a		X	X	X	X	
C6.1		✓	X	X	X	
排出量データ	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.2	✓	✓	X	X
		C6.3	✓	✓	X	X
		C6.5	✓	✓	X	✓
	スコープ1,2排出量 (検証含む)	C6.10	✓	✓	✓	X
排出量内訳	C7.9	✓	✓	X	X	
エネルギー	エネルギー	C8.2	✓	X	X	X
		C8.2a	✓	✓	✓	✓
バリューチェーン協働	バリューチェーン協働	C12.1	✓	✓	✓	X
最終承認	最終承認	C15.1	✓	X	✓	✓

凡例	
✓	当該レベルで評価される質問
X	当該レベルで評価されない質問
太字	セクター別質問